

証券コード:5401



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

2015年度 決算説明会

副社長執行役員

榮 敏治

2016年4月28日

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

1. 2015年度決算
2. 2016年度経営環境
3. 中期経営計画の進捗状況
4. 参考データ

1. 2015年度決算

2015年度決算の概況

2015年度の事業環境

- 中国の過剰能力／過剰輸出による輸出数量減、アジア市況の大幅下落
- 原油価格下落に伴うエネルギー向け鋼材需要の急減
- 内需は底堅いものの期待を下回る水準
- 原材料市況下落に伴う単独・グループ会社における在庫評価損の拡大

当社の取り組み

- マザーミル強化 : 八幡最新鋭CC新設を決定(3/30公表)⇒P30参照、君津No.5コークス炉改修を決定(4/28公表)
- グローバル事業強化: タイ薄板事業2会社(SUS・NSGT)統合(2/10公表)
伯ウジミナス社資本増強決定(3/12公表・4/18同社株主総会承認) ⇒P34参照
- 国内アライアンス : 日新製鋼子会社化等につき検討中(5月中旬を目途に公表予定)
- 海外アライアンス : Vallourec社の出資拡大 (4/6 同社株主総会で資本増強につき承認、4/8ライツイシュー価格が€2.2に決定
[CB €11と合わせた当社引受平均価格€5.4])
- 電炉課題 : 大阪製鐵による東京鋼鐵TOB完了(3/17)・子会社化
- 自己株式取得 : 期間2/2～6/7 上限1,000億円・40百万株(発行済株式総数の4.33%)の取得を決定(2/1公表)
3/31までの進捗 2,034万株 417億円(平均単価2,051円)を取得

決算概況

- 15年度実績 : 経常利益 2,009億円、特別損益 298億円、当期利益^{*1} 1,454億円
- 当期末の配当 : 15円/株(2/1既公表通り) (年間配当金^{*2} 45円/株、連結配当性向 28.4%)

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

*2 第2四半期末の配当を株式併合を踏まえて換算した場合

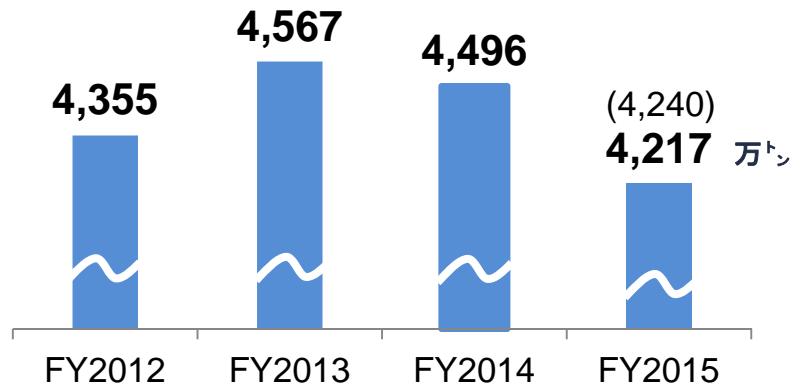


新日鐵住金

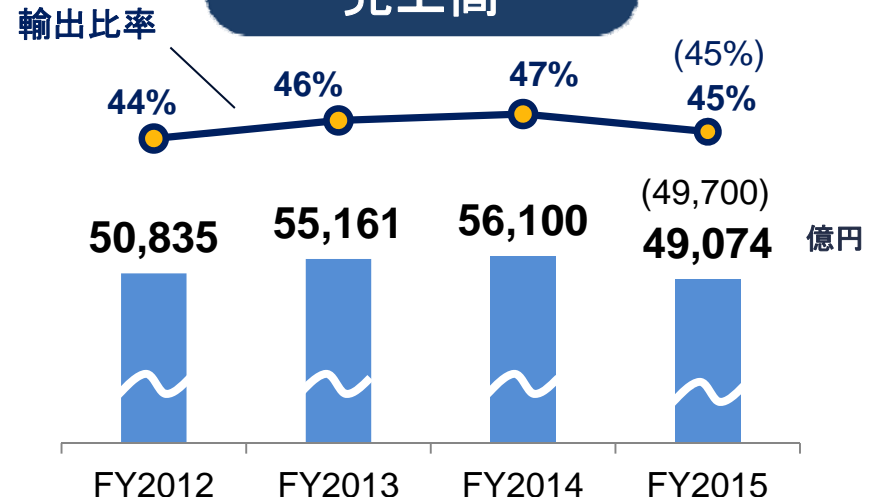
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

主要指標推移

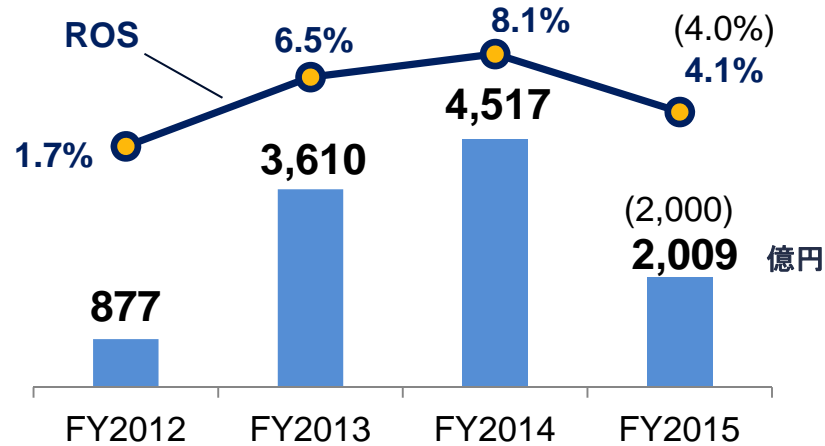
粗鋼生産量*1



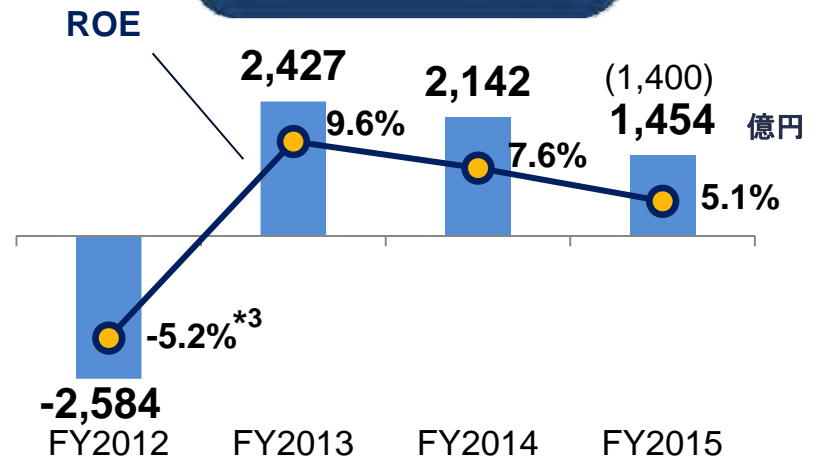
売上高*1



経常利益*1



当期利益*1 *2

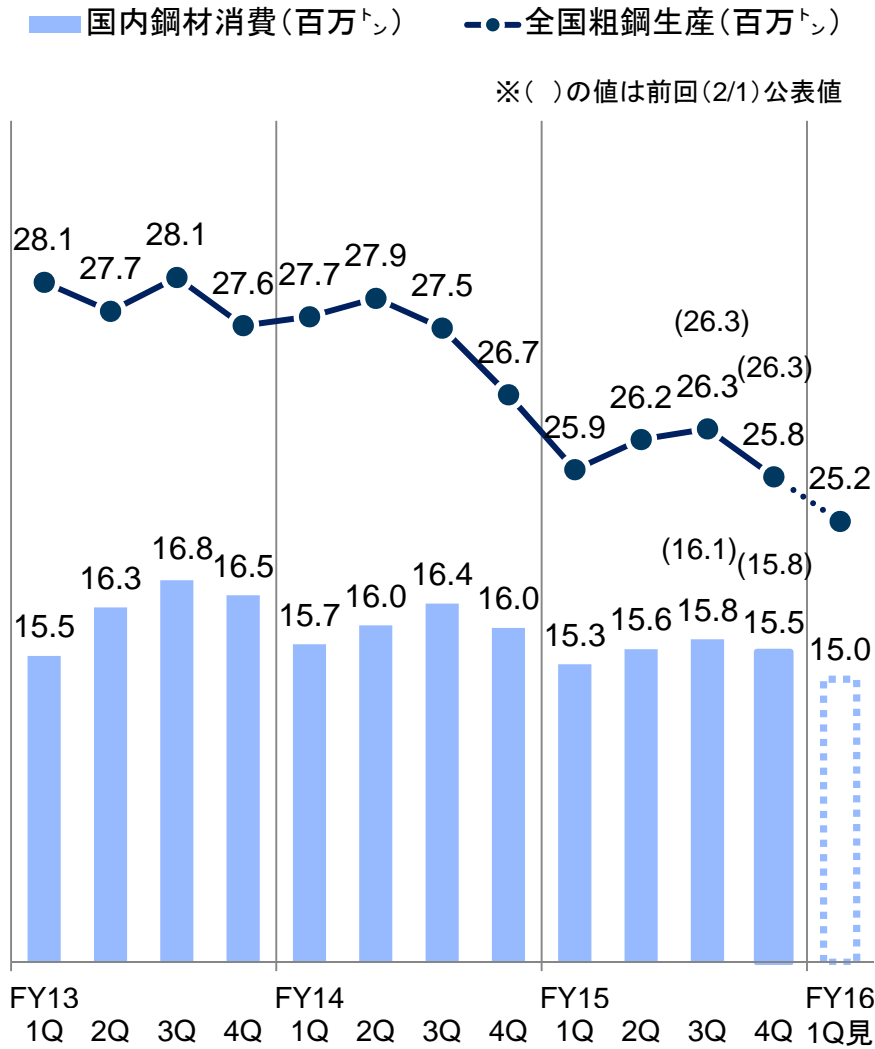


※()は前回(2/1)公表値

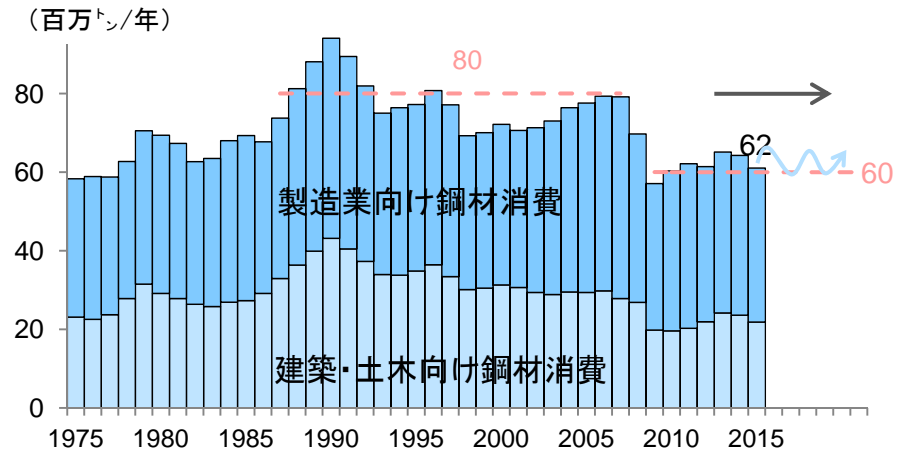
*1 FY2012は旧両社合算ベース *3 存続会社ベース

*2 親会社株主に帰属する当期純利益

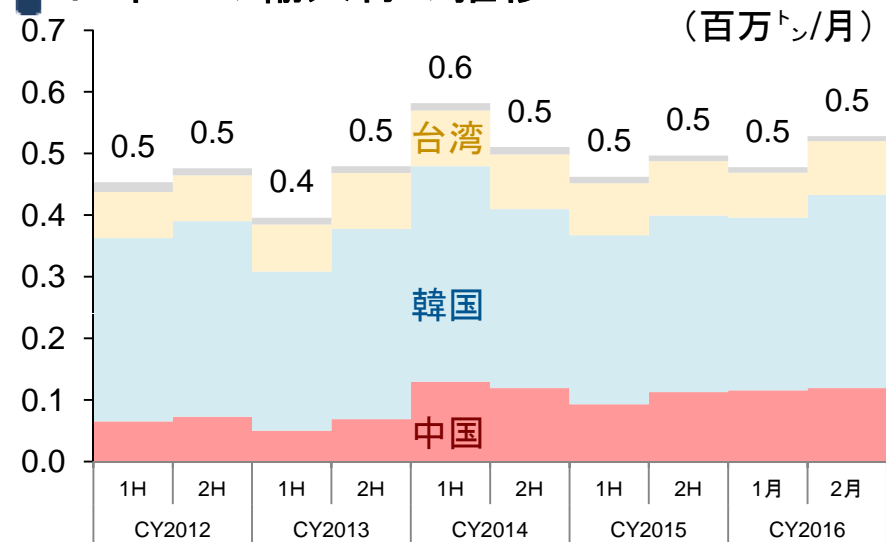
国内鋼材消費・全国粗鋼生産推移



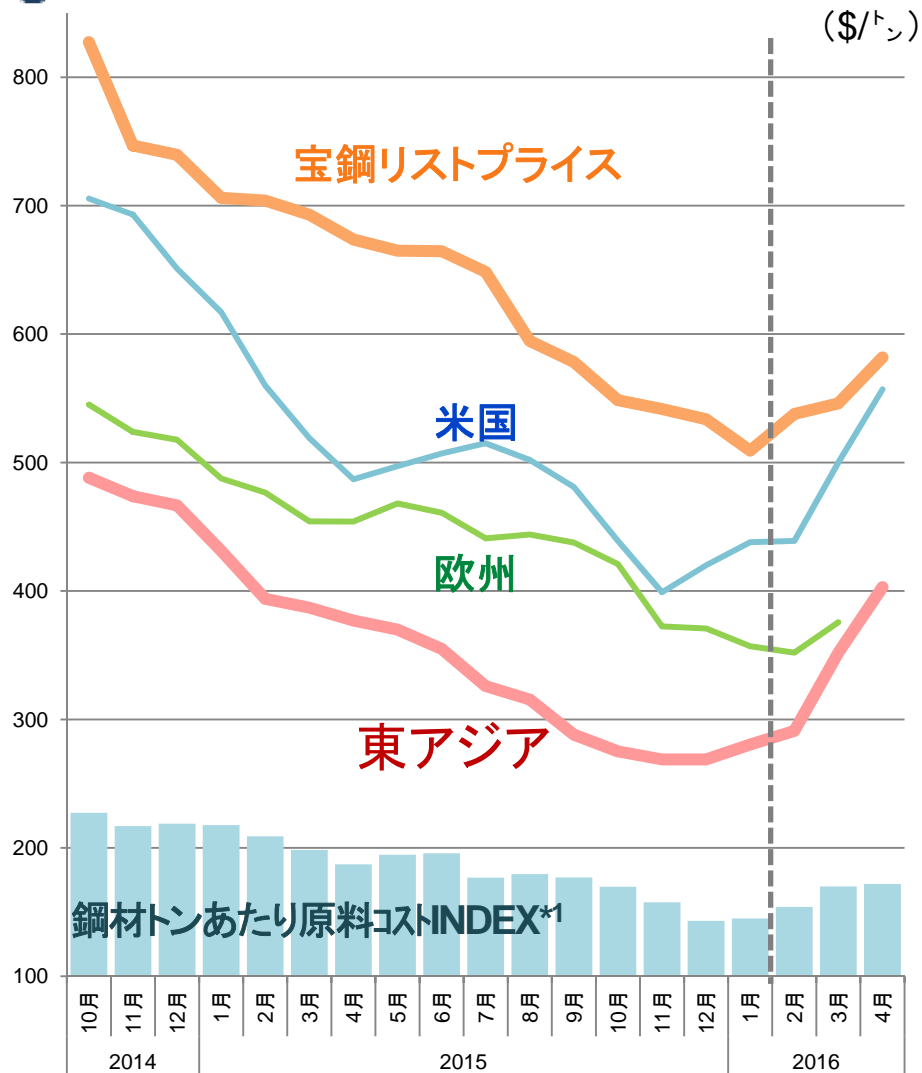
国内鋼材消費長期推移



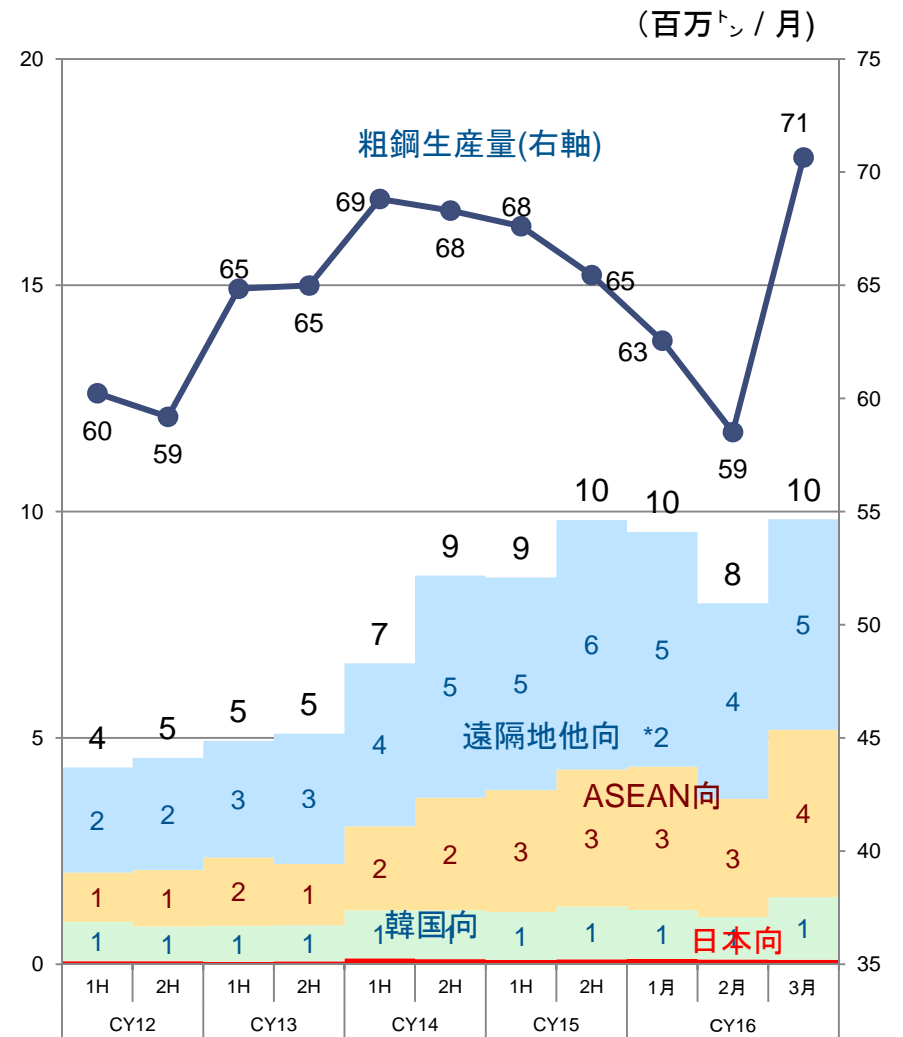
日本への輸入材の推移



各国熱延市況推移



中国粗鋼生産量・輸出材の向け先推移



*1 鉱石市況 × 1.7 + 石炭市況 × 0.9で計算

*2 中東、アフリカ、欧州、北米、中南米等

国務院が「鉄鋼産業の過剰生産能力解消措置」を決定

(2月4日発出の意見書、及び3月5日開幕の全国人民代表大会にて言及)

■ 2016年～2020年の5力年で1.0～1.5億トンの能力削減を実施

■ 実質経営破綻企業の処分

■ 要員の再配置・異動のための奨励金創設

— 石炭・鉄鋼産業で、2年で1,000億元(1兆7千億円程度)の財源

— 石炭・鉄鋼産業で、180万人の余剰人員を再配置

※ 4月11日の経済情勢座談会において、各省・市の責任者を招集し、李克強首相が演説。「足元市場の需要が好転しているが、構造調整の力を緩める事はできない。」

主要需要分野の活動水準推移

〔国内〕		FY14 年度	FY15				*2 (前回見込) 年度	FY16 1Q 見通し	差異			
			1Q	上期	4Q	下期			15/上 → 15/下	14年 → 15年	15/1Q → 16/1Q見	
建設	住宅着工戸数 (万戸)	88	24	47	21	44	(91)	91	23	-3	+3	-1
	非住宅着工面積 (万㎡)	5,261	1,368	2,666	1,275	2,477	(5,319)	5,142	1,315	-189	-119	-53
	公共工事受注*1 (10億円)	10,864	1,808	4,699	2,671	5,182	(9,881)	9,881	1,789	+483	-983	-19
自動車	完成車生産台数 (万台)	959	217	445	241	476	(935)	920	220	+31	-39	+3
	完成車輸出台数 (万台)	449	107	223	123	247	(471)	470	120	+24	+21	+13
	海外生産(8社) (万台)	1,708	443	877	451	907		1,784		+30	+76	
産業機械	大中型ショベル (千台)	78	16	32	17	32	(62)	64	13	+1	-14	-3
	金属工作機械 (千ト)	481	119	237	123	233	(471)	470	103	-4	-10	-17
造船	新造船起工 (万グロスト)	1,258	327	647	310	620	(1,267)	1,267	300	-27	+9	-27

リグカウントの状況	CY09平均	CY10平均	CY11平均	CY12平均	CY13平均	CY14平均	CY15平均	直近
米国	1,089	1,546	1,875	1,919	1,761	1,862	977	440 ('16/4/15)
深井戸(≥15,000ft)	249	249	395	324	326	354	205	136 ('16/2)
北米・露・中を除く世界	997	1,094	1,167	1,234	1,296	1,337	1,167	985 ('16/3)

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額
*2 前回(2/1)公表値 *3 3月中旬見込み値

国内主要需要分野の鋼材消費推移

(単位:万ト)	FY14	FY15				*1 年度 (前回見込)	年度	FY16	差異		
	年度	1Q	上期	4Q	下期			1Q*2 見通し	15/上 → 15/下	14年 → 15年	15/1Q → 16/1Q
全国粗鋼生産量	10,984	2,585	5,207	2,577	5,211	(10,472)	10,418	2,524	+4	-567	-62
国内鋼材消費	6,403	1,531	3,089	1,553	3,129	(6,290)	6,218	1,505	+39	-185	-27
製造業比率 (%)	63.3	63.2	62.9	63.4	63.1	(63.0)	63.0	62.9	+0.2	-0.3	-0.2
普通鋼鋼材消費	5,092	1,219	2,459	1,243	2,491	(5,003)	4,950	1,193	+32	-142	-26
建設	2,236	536	1,089	541	1,099	(2,214)	2,188	530	+10	-48	-6
製造業	2,856	683	1,370	702	1,392	(2,789)	2,762	663	+23	-95	-20
ウチ、造船	434	111	220	105	209	(429)	429	105	-11	-5	-6
ウチ、自動車	1,114	261	532	280	557	(1,103)	1,089	261	+26	-26	-0
ウチ、産業機械	518	124	243	120	238	(493)	482	113	-5	-37	-11
ウチ、電気機械	307	73	145	78	149	(294)	294	70	+4	-13	-3
特殊鋼鋼材消費	1,311	312	631	310	638	(1,288)	1,268	311	+7	-43	-1
鋼材輸入	666	150	309								
鋼材輸出	3,897	949	1,895								

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 前回(2/1)公表値 *2 3月中旬見込み値

当社製鉄事業主要指標

12

(単位:万ト)	FY14 年度	FY15							差異				
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	*2 (前回見込) 年度	15/3Q → 15/4Q	15/上 → 15/下	14年 → 15年	15年見 → 15年	
出銑量 *1	4,491	1,045	1,091	2,135	1,065	1,052	2,117	(4,280)	4,251	-13	-18	-239	-29
粗鋼生産量(連結)	4,732	1,089	1,138	2,227	1,114	1,112	2,226	(4,480)	4,453	-2	-1	-279	-27
粗鋼生産量(単独)	4,496	1,031	1,076	2,107	1,056	1,055	2,111	(4,240)	4,217	-1	+4	-279	-23
鋼材出荷量	4,188	985	979	1,964	999	999	1,998	(3,970)	3,962	+1	+34	-226	-8
シームレス出荷量	118	23	21	44	19	20	40	(82)	83	+1	-4	-35	+1
鋼材平均価格 (千円/ト)	87.2	82.8	79.8	81.3	75.5	70.6	73.1	(77)	77.1	-4.9	-8.2	-10.0	+0.1
鋼材輸出比率(%) [金額ベース]	47	48	46	47	43	43	43	(45)	45	-1	-4	-2	0
為替レート(¥/\$)	109	121	122	122	121	118	120	(121)	121	3円高	2円高	12円安	0円高

*1 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み *2 前回(2/1)公表値

2015年度決算

(単位:億円)	FY14 年度	FY15					差異				
		上期	3Q	4Q	下期	(前回見込) ^{*3} 年度	15/3Q → 15/4Q	15/上 → 15/下	14年 → 15年	15年見 → 15年	
売上高	56,100	25,075	12,083	11,915	23,998	(49,700)	49,074	-168	-1,077	-7,026	-626
営業利益	3,495	983	492	200	693	/	1,677	-292	-290	-1,818	/
経常利益	4,517	1,298	551	159	710	(2,000)	2,009	-392	-588	-2,508	+9
特別損益	-755	475	-4	-173	-177	/	298	-169	-652	+1,053	/
当期利益 ^{*1}	2,142	1,201	329	-76	253	(1,400)	1,454	-405	-948	-688	+54
[1株当り 当期利益] ^{*2}	[234.8]	[131.2]	[35.7]	[-8.3]	[27.6]	[152.0]	[158.7]	[-44.0]	[-103.6]	[-76.1]	[+6.7]
EBITDA	6,695	2,502	1,258	999	2,257	/	4,759	-259	-245	-1,936	/
EBITDA / Sales	11.9%	10.0%	10.4%	8.4%	9.4%	/	9.7%	-2.0%	-0.6%	-2.2%	/
ROS	8.1%	5.2%	4.6%	1.3%	3.0%	(4.0%)	4.1%	-3.2%	-2.2%	-4.0%	+0.1%
ROE	7.6%	8.1%	4.5%	-1.1%	1.8%	/	5.1%	-5.6%	-6.4%	-2.5%	/

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

*2 2015年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2014年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期利益を算定

*3 前回(2/1)公表値



特別損益

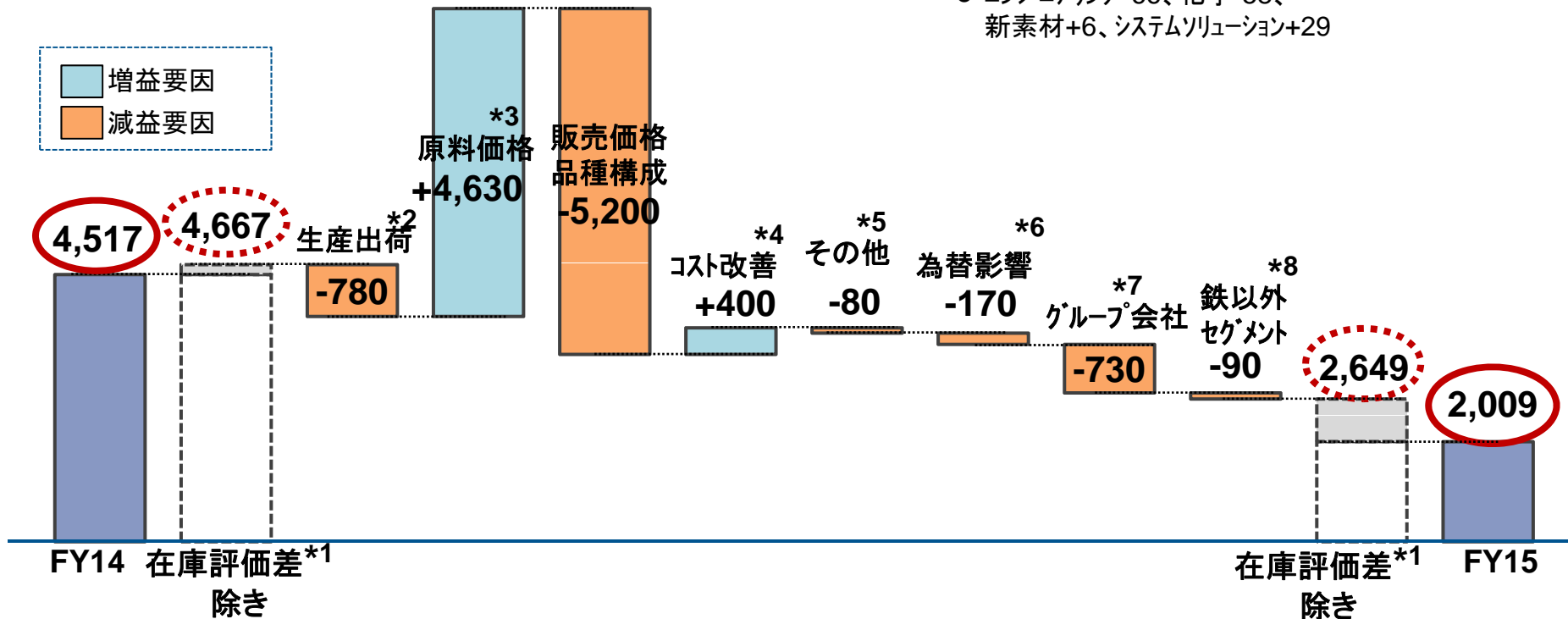
(単位:億円)

	FY14	FY15				差異 14年 → 15年
		上期	3Q	4Q	下期	
投資有価証券売却益	143	—	—	—	—	-143
関係会社株式売却益	—	334	0	-8	-8	+326
受取和解金	—	300	—	—	—	+300
減損損失	—	—	—	-137	-137	-137
設備休止関連損失	-212	-158	-4	-27	-32	-190
関係会社事業損失	-686	—	—	—	—	+686
特別損益	-755	475	-4	-173	-177	298

経常損益分析 (FY14→FY15)

(単位:億円)	FY14 [A]	FY15 [B]	増減 [A→B]
経常利益	4,517	2,009	-2,508
製鉄	4,019	1,600	-2,419
鉄以外セグメント	447	358	-89
調整額	50	50	0

- *1 在庫評価差 -490 (-150 → -640)
- *2 粗鋼-279万トン(4,496→4,217)
出荷-226万トン(4,188→3,962)
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 統合効果含む
- *5 増加:コークス炉パトアップ影響、減少:名古屋影響等
- *6 スtock: -170 (+240→+70)
- *7 在庫評価差・為替評価差の悪化、原料権益損益の悪化
ウジミスの悪化等
- *8 エンジニアリング-66、化学-58、
新素材+6、システムソリューション+29

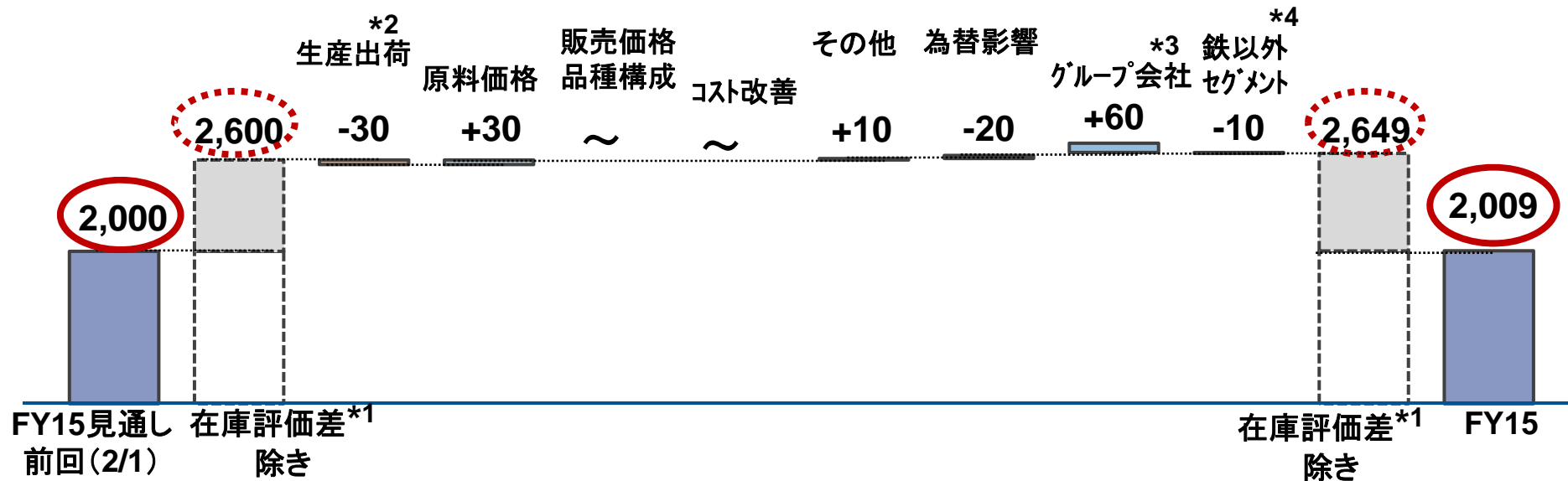


経常損益分析 (FY15見通し(2/1)→FY15実績)

(単位:億円)	FY15見通し (前回:2/1) [A]	FY15 [B]	増減 [A→B]
経常利益	2,000	2,009	+9
製鉄	1,600	1,600	0
鉄以外セグメント	365	358	-7
調整額	35	50	+15

- *1 在庫評価差 -40 (-600 → -640)
- *2 粗鋼-23万ト程度(4,240程度→4,217)
出荷-8万ト程度(3,970程度→3,962)
- *3 建設関連や電炉等の国内会社の業績改善等
- *4 エンジニアリング+1、化学～、
新素材+5、システムソリューション-16

増益要因
 減益要因

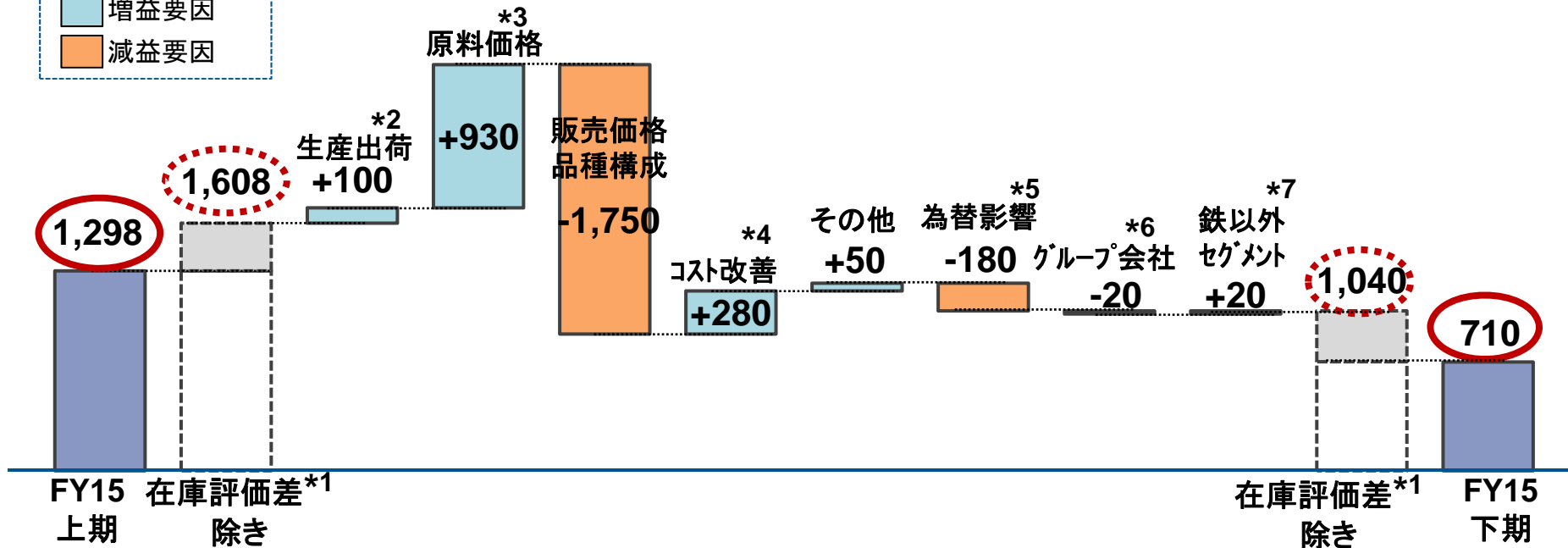


経常損益分析 (FY15/上期→FY15/下期)

(単位:億円)	FY15/上期 [A]	FY15/下期 [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,298	710	-588
製鉄	1,107	493	-614
鉄以外セグメント	170	187	+17
調整額	20	30	+10

- *1 在庫評価差 -20 (-310 → -330)
- *2 粗鋼+4万ト(2,107→2,111)
出荷+34万ト(1,964→1,998)
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 統合効果含む
- *5 ストック:-170 (+120→-50)
- *6 ウジミナスの悪化等
- *7 エンジニアリング+78、化学-51、
新素材-2、システムソリューション-8

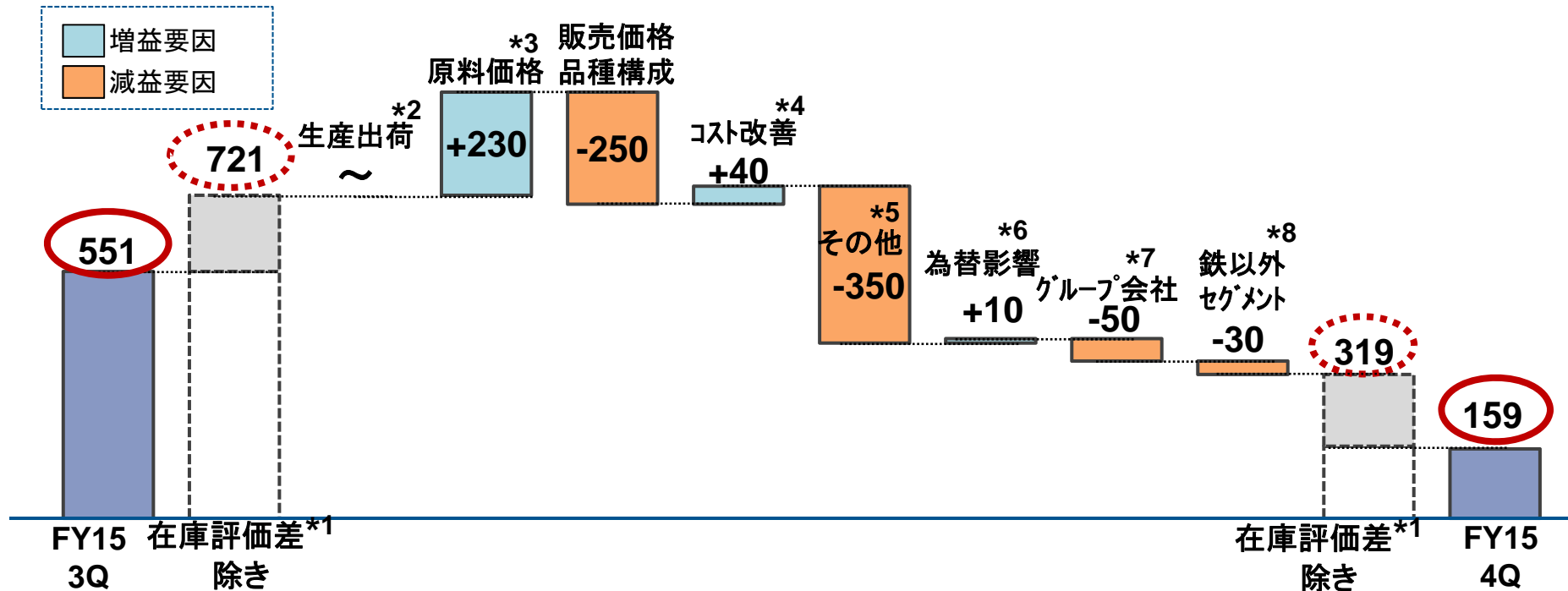
■ 増益要因
■ 減益要因



経常損益分析 (FY15/3Q→FY15/4Q)

(単位:億円)	FY15/3Q [A]	FY15/4Q [B]	増減 [A→B]
経常利益	551	159	-392
製鉄	435	58	-377
鉄以外セグメント	106	80	-26
調整額	9	20	+11

- *1 在庫評価差 +10 (-170 → -160)
- *2 粗鋼-1万ト (1,056→1,055)
出荷+1万ト (999→999)
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 統合効果含む
- *5 期間差(価格精算、固定費段差等)等
- *6 スtock: +10 (-30→-20)
- *7 原料価格の下落 等
- *8 エンジニアリング+13、化学-32、
新素材-7、システムソリューション+1



製鉄以外セグメント概況

売上高・経常利益推移 (単位:億円)

(4セグメント合計)



2015年度 経常損益動向 (前年対比)

エンジニアリング事業	↓ 減益 : 原油市況低迷・海外顧客の投資意欲減退等の事業環境に加え、足下の円高影響により減益
化学事業	↓ 減益 : 化学品マージン・エスパネックス販売好調も、シケムの不調により減益
新素材事業	↑ 増益 : 表面処理銅ワイヤ及び炭素繊維・複合材の販売堅調により増益
システムソリューション事業	↑ 増益 : 販売管理費増加も、業務ソリューション・サービスソリューション好調や粗利率改善で増益

(単位:億円)

エンジニアリング事業		2013年度	2014年度	2015年度
	売上高	3,141	3,486	3,157
	経常利益	177	187	121

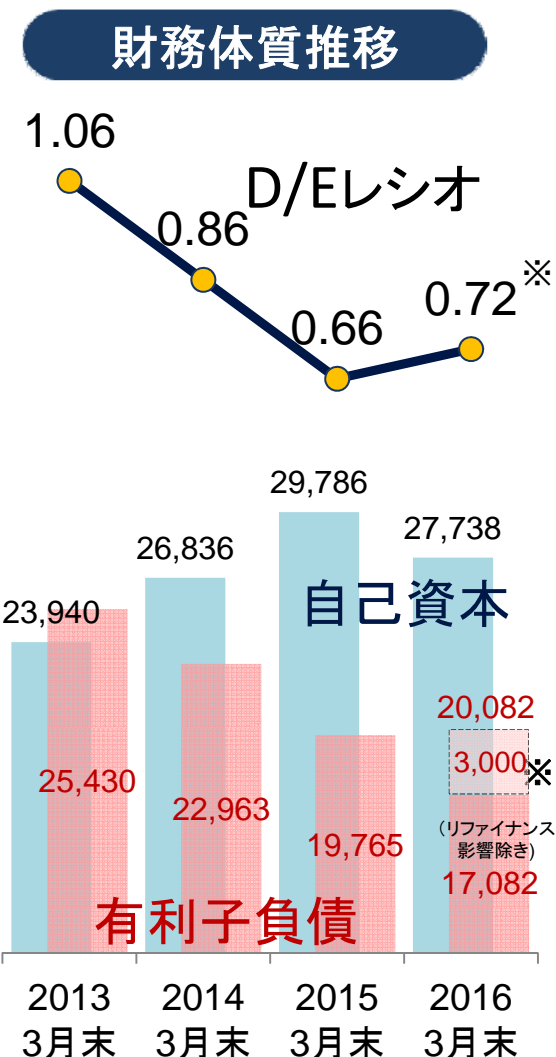
化学事業		2013年度	2014年度	2015年度
	売上高	2,301	2,127	1,818
	経常利益	100	68	10

新素材事業		2013年度	2014年度	2015年度
	売上高	372	364	362
	経常利益	13	24	30

システムソリューション事業		2013年度	2014年度	2015年度
	売上高	1,798	2,060	2,189
	経常利益	127	165	194

貸借対照表

(億円)	2015年 3月末	2016年 3月末	(億円)	2015年 3月末	2016年 3月末
流動資産合計	23,338	19,900	負債合計	36,108	34,159
たな卸資産	12,542	11,109	有利子負債	19,765	20,082
固定資産合計	48,241	44,349	純資産合計	35,470	30,090
有形固定資産	25,978	25,792	自己資本	29,786	27,738
投資有価証券	7,687	5,924	評価差額金*	2,796	1,713
関係会社株式	10,795	9,798	非支配株主持分	5,683	2,352
資産合計	71,579	64,250	負債純資産合計	71,579	64,250



	2015年3月末	2016年3月末	増減
総資産 (億円)	71,579	64,250	-7,328
有利子負債 (〃)	19,765	20,082	+316
自己資本 (〃)	29,786	27,738	-2,048
D/Eレシオ (倍)	0.66	0.72	+0.06

※2015年7月に実施したハイブリッド証券から劣後ローンへのリファイナンス影響
 非支配株主持分3,000億円減、有利子負債3,000億円増、D/Eレシオ0.1程度増(但し国際格付け評価上はD/Eへの影響なし)。

* その他有価証券評価差額金

当期末の剰余金の配当について

当期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、第3四半期決算発表時(2016年2月1日)に公表致しましたとおり、1株につき15円として定時株主総会にご提案させていただく予定です。(2015年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しており、当第2四半期末の配当を当該株式併合を踏まえて換算した場合、年間配当金としては1株につき45円、連結配当性向28.4%)

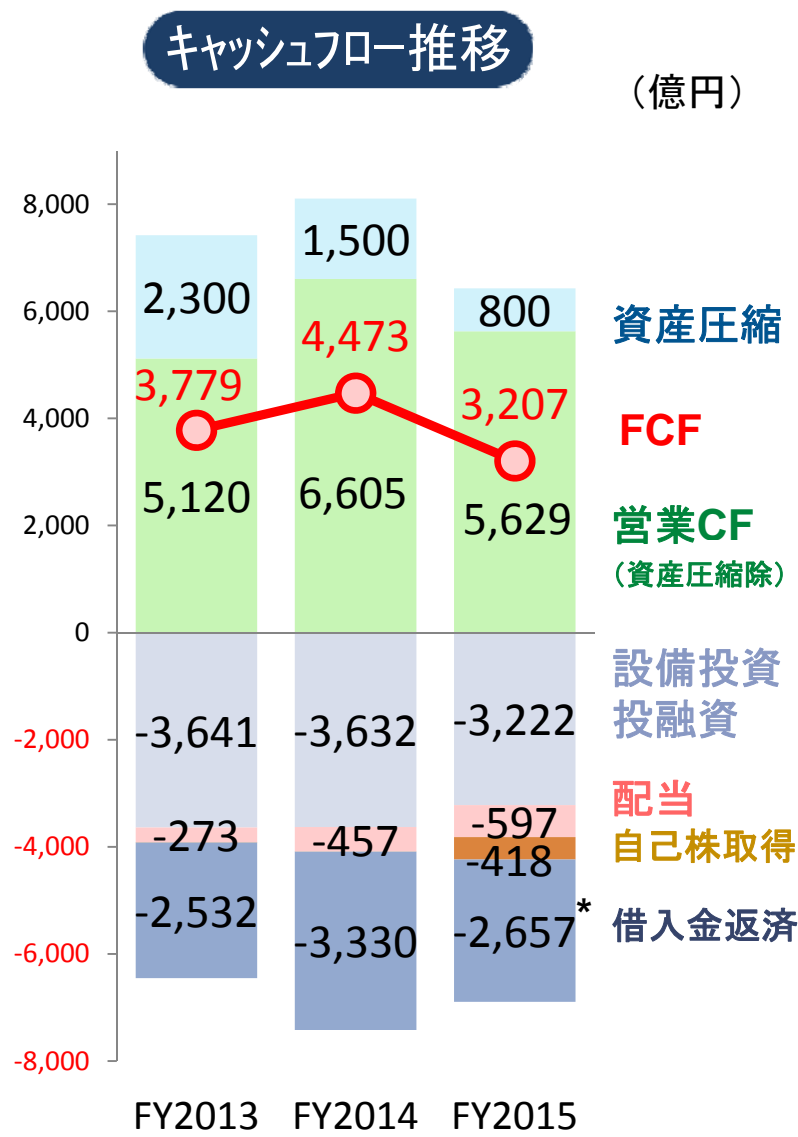
< 剰余金の配当等の決定に関する方針 >

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安と致します。

キャッシュフロー(CF)

		FY2014	FY2015
(億円)			
Cash-in	営業CF(資産圧縮除)	6,605	5,629
	経常利益	4,517	2,009
	減価償却費	3,200	3,082
	持分法利益控除	-827	-441
	支払税	-814	-581
	運転バランス等	529	1,560
	資産圧縮	1,500	800
Cash-out	設備投資・投融資	-3,632	-3,222
	フリーキャッシュ・フロー	4,473	3,207
	支払配当	-457	-597
	自己株取得	-1	-418
	借入金等返済	-3,330	-2,657*
	その他	-610	188
	現金同等物増減	+75	-277

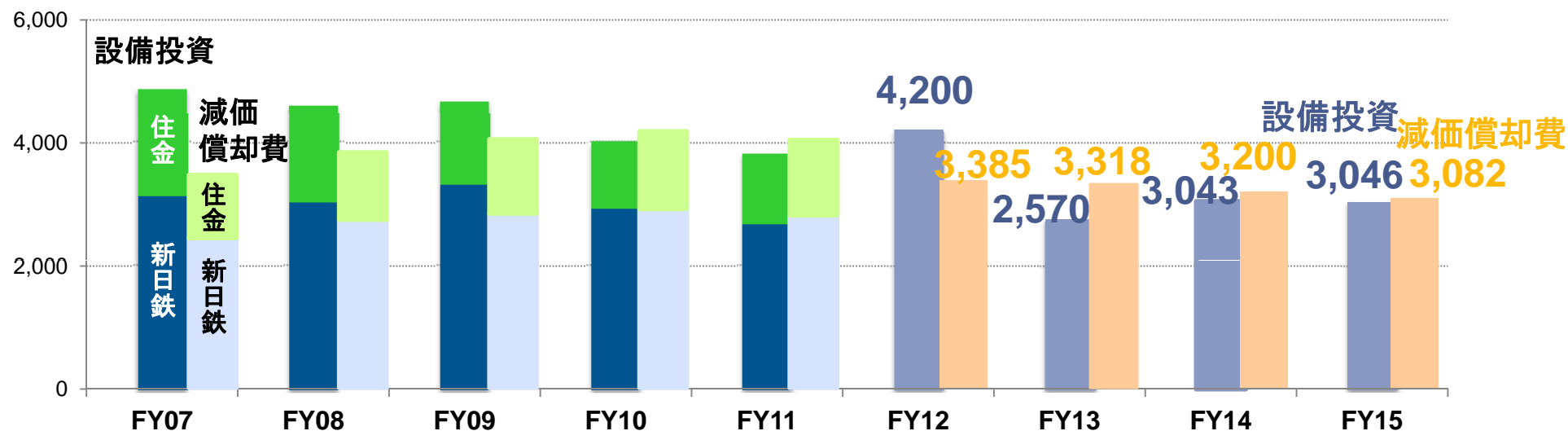


* 「2015借入金返済-2,657億円」 + 「ハイブリッド証券ファイナンス(非支配持分→有利子負債)3,000億円」
 - 「連結範囲変更・為替換算影響27億円」 = 「有利子負債増減+316億円」

設備投資・減価償却費

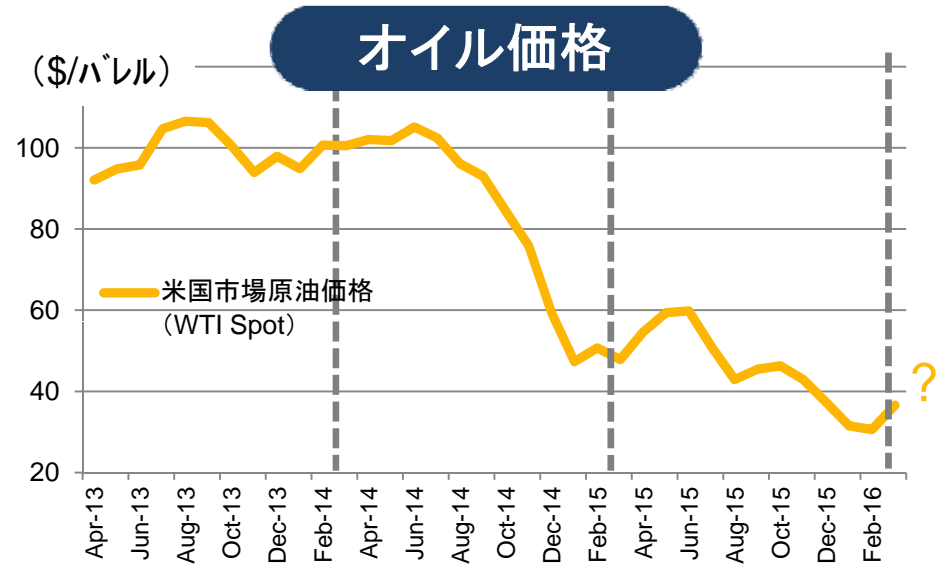
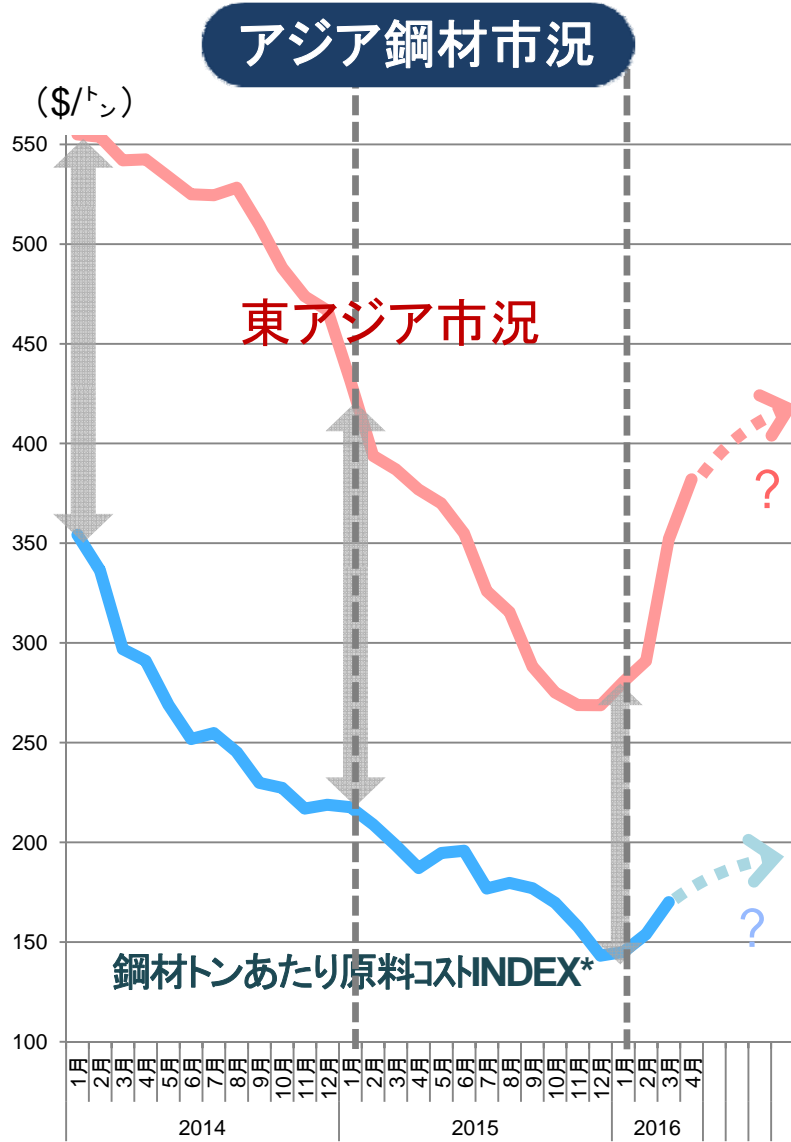
(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鉄 下段:住金)	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15
設備投資 <工事ベース>	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,570	3,043	3,046
減価償却費	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,318	3,200	3,082



※ 設備投資：FY07～12の新日鐵住金は、新日鉄と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

2. 2016年度經營環境



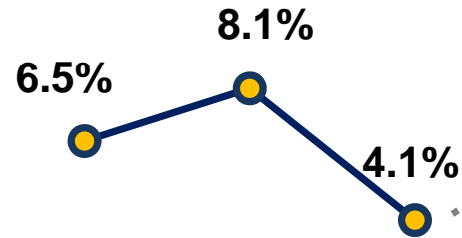
* 鉱石市況 × 1.7 + 石炭市況 × 0.9で計算

- **コスト改善** 2015～17の3年間で、中期計画の年率1500億円の実現を目指す。
- **グループ会社** 原料権益、海外下工程JV、ウジミナス
在庫評価損は、減少の見込。
- **在庫評価差** 2015年度評価損 約▲650から、損失は縮小の見込。
原料価格および為替の動向により変動。
- **販売価格・構成** エネルギー向け鋼材需要低迷。
国際市況は、足下回復の動きはあるものの、中国はじめ東アジアの
供給過剰構造が続いている中で、注視が必要。
- **為替** 円高の場合、輸出入フロー・ストック評価損益とも、マイナス影響。
- **退職給付費用** 10年前の株価高騰時の数理差異償却完了。

3. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画 進捗状況：定量的指標の目標値

ROS

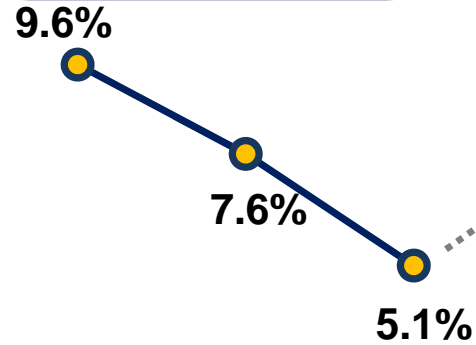


10%以上

FY13	FY14	FY15
------	------	------

目標
FY17

ROE

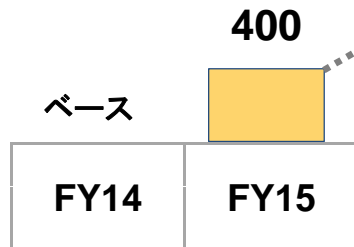


10%以上

FY13	FY14	FY15
------	------	------

目標
FY17

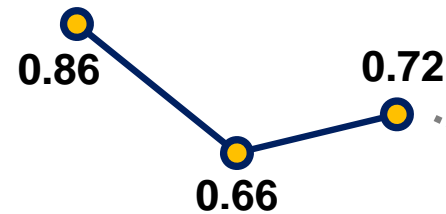
コスト改善 (億円)



年率
1,500
以上
億円

目標
FY17

D/Eレシオ



0.5
程度

FY13	FY14	FY15
------	------	------

目標
FY17

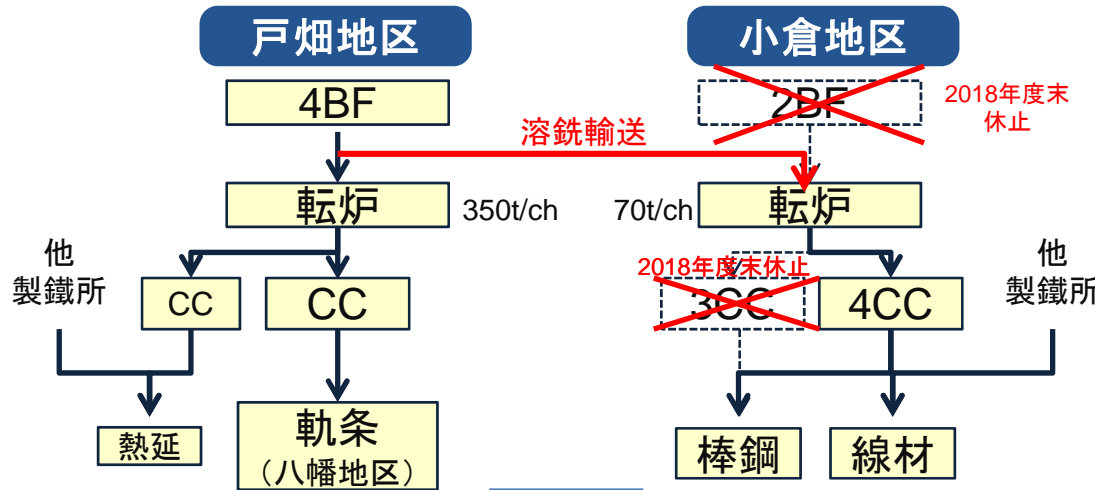
中期計画 進捗状況

	社名／製造所	内容	FY15		FY16		FY17	FY18 以降
			1H	2H	1H	2H		
マザーミルの強化	君津	第3高炉休止		★ 3/12				
	八幡	鉄源最適生産体制構築						★ FY18~20予定
	鹿島・君津	コークス炉リフレッシュ			★ (鹿/1F) 8月予定	★ (君/第4) 12月予定		★ (鹿/2E) 4月予定 ★ (君/第5) 2H予定
グローバル事業強化 海外JV 生産能力 2012年度末 900万t 足下 1,900万t	BNA (中国:自動車鋼板/宝鋼とのJV能力拡大)	No.4CGL稼働開始	★	9/15				
	ICI (米国:クランクシャフト/鍛造プレスライン新設)	第4ライン商業生産開始		★ 10/30				
	NSCh (中国:自動車向線材/NBC中国の能力増強)	稼働開始		★ 12/11				
	VAM® BRN (ブルネイ:鋼管/住友商事とのJV)	稼働開始予定				★ FY16予定		
	KOS (インドネシア:建材/大阪製鐵とPTKSとのJV)	稼働開始予定				★ FY16予定		
	KNSS (インドネシア:自動車鋼板/PTKSとのJV)	稼働開始予定					★ FY17予定	
	NSCI (米国:自動車用線材/二次加工メーカーとのJV)	稼働開始予定					★ FY17予定	
Gr会社の選択と集中	ユニプレス	株式追加取得	★	5/14				
	大阪製鐵	東京鋼鉄TOB		★ 9/18 公表	★ 3/17 完了			
	日鐵住金建材・日鐵住金コラム	経営統合			★ 4/1 完了			
	日鐵住金精密加工	経営統合			★ 7/1 予定			

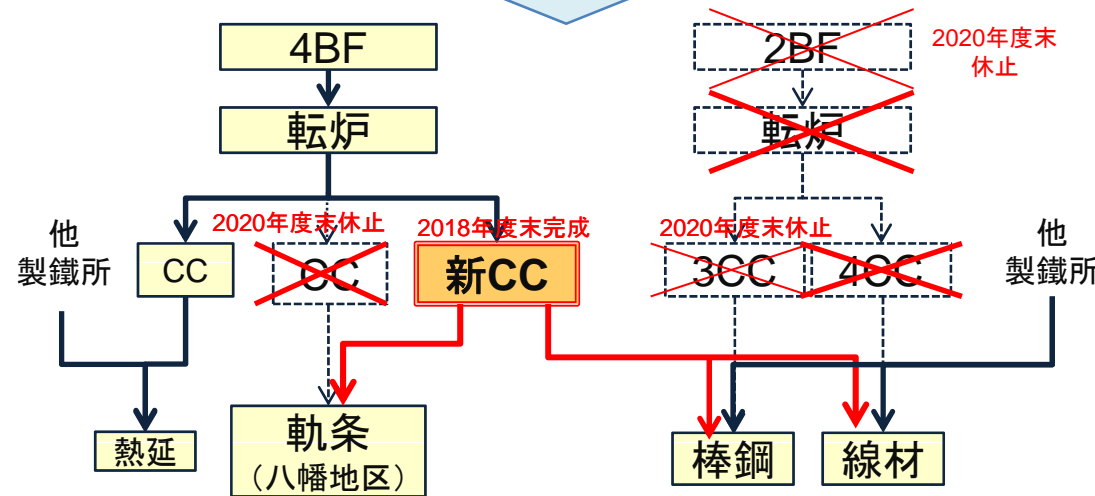
八幡製鐵所における最新鋭CC(連続鑄造設備)の設置 30

八幡鉄源工程の最適化方案を変更

当初方案 *1

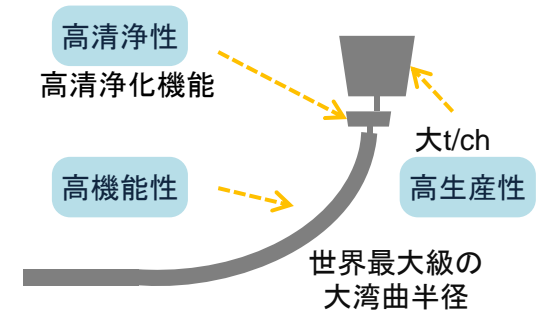


今回見直し方案 *2



戸畑地区連続鑄造設備の新設

- 小倉地区4CCの大湾曲プロフィール(世界最大級)の踏襲 ⇒ 鑄片割れ・偏析対応力強化による高機能鋼対応力
- 小倉地区3CCと同等の高清浄化機能担保



品質対応力・生産性向上

【棒線品種】

- 現状小倉地区の棒線生産量変化なし
- 最新鋭CCによる商品競争力向上
- 戸畑製鋼の大ロットの活用による生産性向上

【軌条品種】

- 最新鋭CCによる生産性向上・商品対応力強化
- 全社鉄源バランスは当初方案と変化なし

*1 2015.3.3公表

*2 2016.3.30公表

文部科学大臣表彰

・科学技術賞 (開発部門)
(10年連続受賞)



量産可能な多機能統合型
転炉法の開発

大河内賞・

大河内記念生産特賞

キャスト方式による無接着剤型銅
張積層板(2層CCL)および高生
産性プロセスの開発

新日鐵住金化学



エスパネックス®

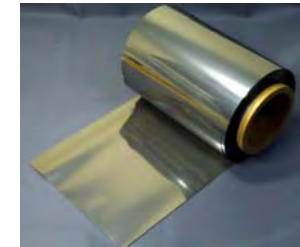
2015 THOMSON REUTERS
TOP 100
GLOBAL INNOVATORS

「世界で最も革新的な企業トップ100社」

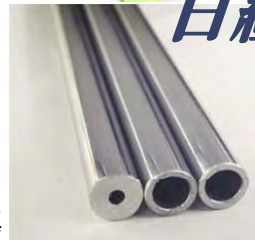
特に、特許「成功率」・「グローバル性」が
高い評価を得て、4年連続で選出

チタン箔がトヨタ
自動車の燃料電池車
「MIRAI」に採用

優れた耐食性を有する特殊
圧延チタン箔の製造方法を
開発・燃料電池車に採用



日経優秀製品・サービス賞



水素ステーション用の高強度鋼材
HRX19®の開発

右2本がHRX19®の製品写真

4. 参考データ

資本増強による財務体質改善

● 普通株新株引受権の株主割当

10億リアル (5.00リアル/株 × 2億株) ≒ 約300億円

4/18 伯ウ臨時株主総会にて承認 ⇒ 行使期限: 5/23(第一回)

⇒ 他株主の対応如何では、当社は**最大10億リアル**を引受ける考え



◇ 当社グループ持株比率

2015.12.31時点	協定株式	協定外株式	普通株式	優先株式
当社グループ	43.57%	3.68%	29.16%	0.62%

増資引受: ~10億リアル
(~2億株)

<参考> 授權内で優先株発行(短期資金対応) 64.9百万リアル(1.28リアル/株 × 50.7百万株) ≒ 約20億円

収益改善施策への取り組み

- (1) クバトン製鐵所の上工程休止 (2016.1実施済) (2) コスト改善 (3) 資産圧縮 他

世界の経済成長率推移

<2016年4月12日IMF改定値>

前回 (2016.1.19)

	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15		CY16 見通し	CY17 見通し
世界 合計	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.4	3.4	3.4	(3.1) 3.1	(3.4) 3.2	3.5	
先進諸国	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.2	1.4	1.8	(1.9) 1.9	(2.1) 1.9	2.0	
米国	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.3	2.2	2.4	(2.5) 2.4	(2.6) 2.4	2.5	
欧州	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	-0.4	0.9	(1.5) 1.6	(1.7) 1.5	1.6	
日本	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.5	1.6	0.0	(0.6) 0.5	(1.0) 0.5	-0.1	
新興諸国	6.1	2.7	7.5	6.2	5.1	5.0	4.6	(4.0) 4.0	(4.3) 4.1	4.6	
中国	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	7.7	7.3	(6.9) 6.9	(6.3) 6.5	6.2	
インド	7.3	6.8	10.6	6.3	4.7	6.9	7.3	(7.3) 7.3	(7.5) 7.5	7.5	
ASEAN5*	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	5.1	4.6	(4.7) 4.7	(4.8) 4.8	5.1	
ロシア	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	1.3	0.6	(-3.7) -3.7	(-1.0) -1.8	0.8	
ブラジル	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	2.7	0.1	(-3.8) -3.8	(-3.5) -3.8	0.0	

(出所: IMF)

* ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム



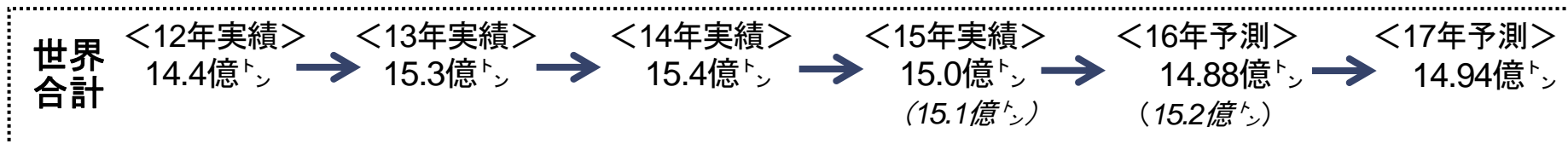
新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費)

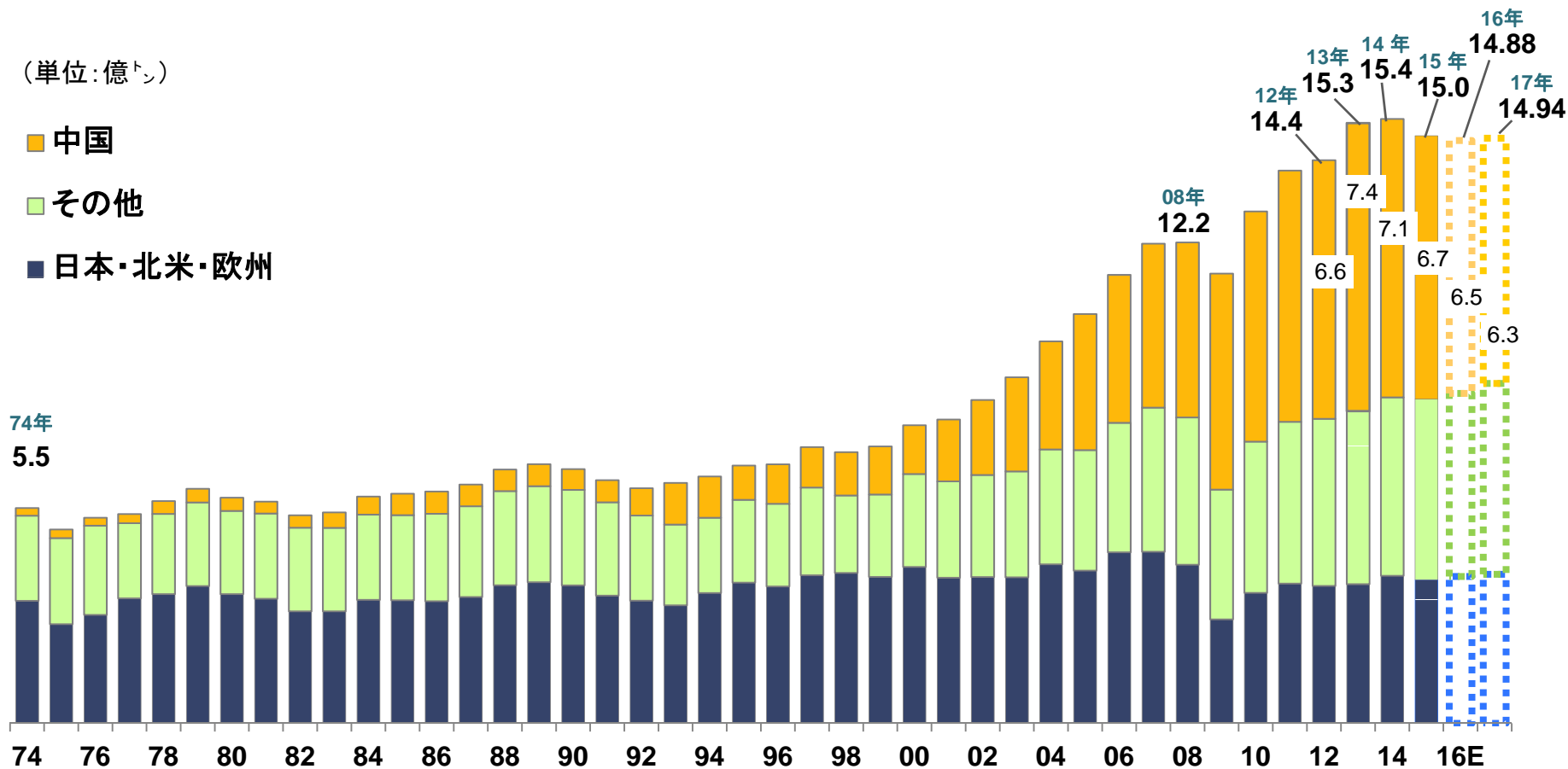
35
 <2016年4月13日WSA改訂値>

前回(2015年10月12日)



(単位:億トﾝ)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州



(出所: World Steel Association)

世界月別粗鋼生産量

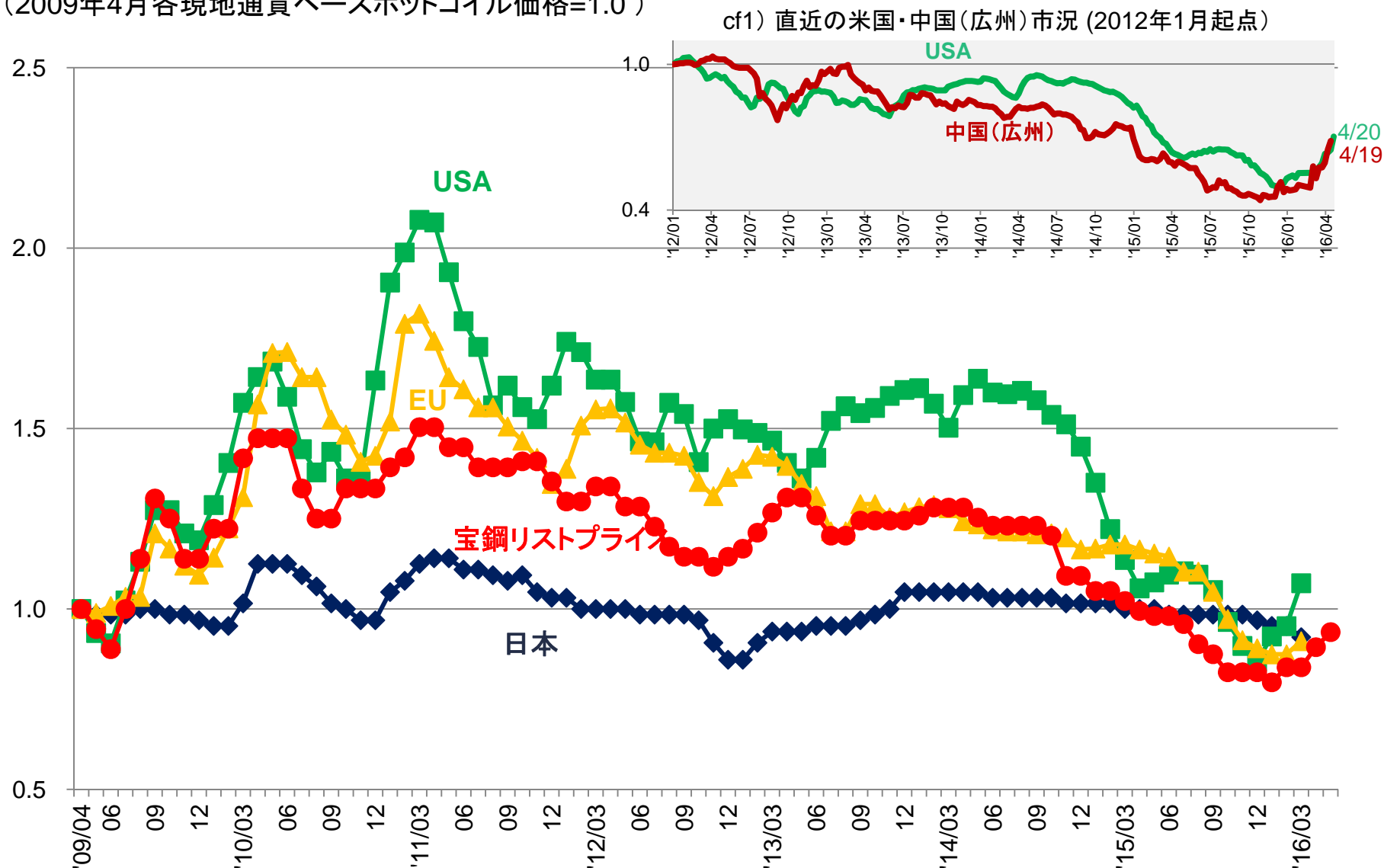
(百万トン)	CY14	CY15								CY16				差異 (A → B)
		1-3	4-6	7-9	10	11	12	10-12 [A]	1	2	3	1-3 [B]		
世界計* (前年同期比)	1,644.4 (+3.9%)	401.9 (-1.5%)	411.9 (-2.0%)	395.9 (-3.7%)	132.8 (-3.7%)	126.8 (-4.1%)	126.7 (-5.7%)	386.3 (-4.5%)	1,597.9 (-3.0%)	126.9 (-7.7%)	121.2 (-3.5%)	137.3 (-1.1%)	385.7 (-4.0%)	-0.7 (-0.2%)
日本 (前年同期比)	110.7 (+0.1%)	26.7 (-3.0%)	25.9 (-6.6%)	26.2 (-6.0%)	9.0 (-3.8%)	8.7 (-4.7%)	8.6 (-4.6%)	26.3 (-4.4%)	105.2 (-5.0%)	8.8 (-2.7%)	8.3 (-1.1%)	8.6 (-6.8%)	25.8 (-3.6%)	-0.6 (-2.2%)
韓国 (前年同期比)	71.5 (+8.4%)	16.9 (-5.2%)	17.6 (-4.6%)	17.3 (-0.4%)	6.1 (-1.4%)	5.8 (-1.2%)	5.9 (+1.6%)	17.8 (-0.4%)	69.7 (-1.9%)	5.7 (-4.5%)	5.1 (+0.6%)	5.4 (-8.4%)	16.2 (-4.3%)	-1.6 (-9.1%)
米国	88.2	19.9	20.1	20.5	6.5	5.8	6.0	18.3	78.9	6.5	6.4	6.7	19.6	+1.3
EU28	169.3	44.0	44.1	39.3	14.0	13.1	11.5	38.6	166.1	13.4	13.4	14.1	40.9	+2.3
ロシア	71.5	18.2	17.5	18.0	5.8	5.7	5.8	17.3	70.9	5.6	5.7	6.0	17.2	-0.0
ブラジル	33.9	8.4	8.7	8.2	3.0	2.5	2.5	8.0	33.3	2.5	2.4	2.5	7.4	-0.6
インド	87.3	22.5	22.7	22.4	7.4	7.3	7.3	21.9	89.6	7.4	7.5	8.1	22.9	+1.0
中国 (前年同期比)	819.9 (+5.2%)	197.9 (-2.5%)	207.8 (-1.1%)	198.9 (-3.7%)	66.1 (-3.1%)	63.3 (-1.6%)	64.4 (-5.2%)	193.8 (-3.3%)	803.8 (-2.3%)	62.6 (-7.3%)	58.5 (-4.0%)	70.7 (+1.7%)	192.0 (-3.0%)	-1.8 (-0.9%)

(出所 : World Steel Association)

* 世界66カ国の合計値

世界各国ホットコイル市況推移

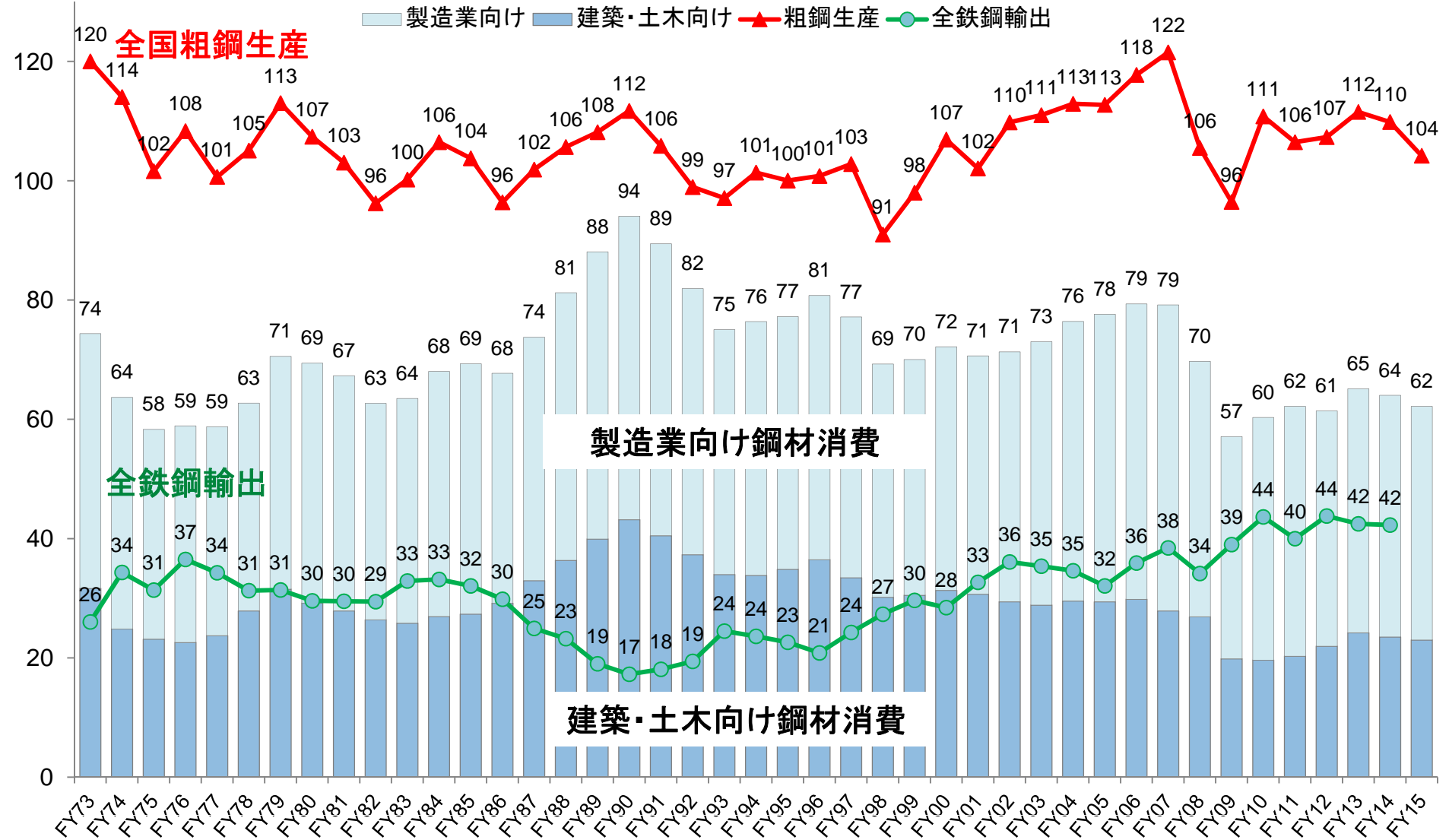
(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)



(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

国内鋼材消費推移

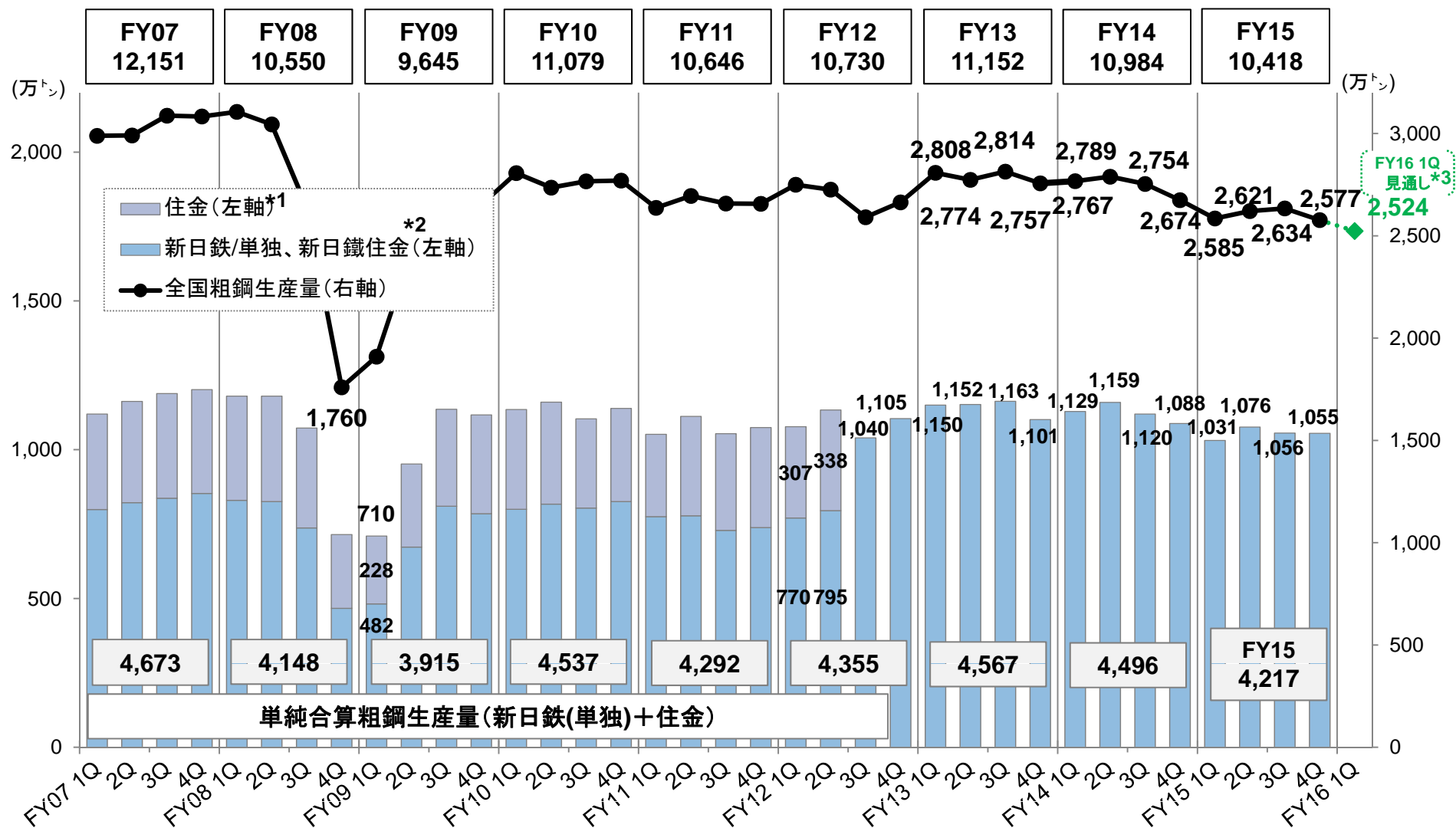
(百万ト)



(出所:各種統計資料・当社推定)

国内粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量



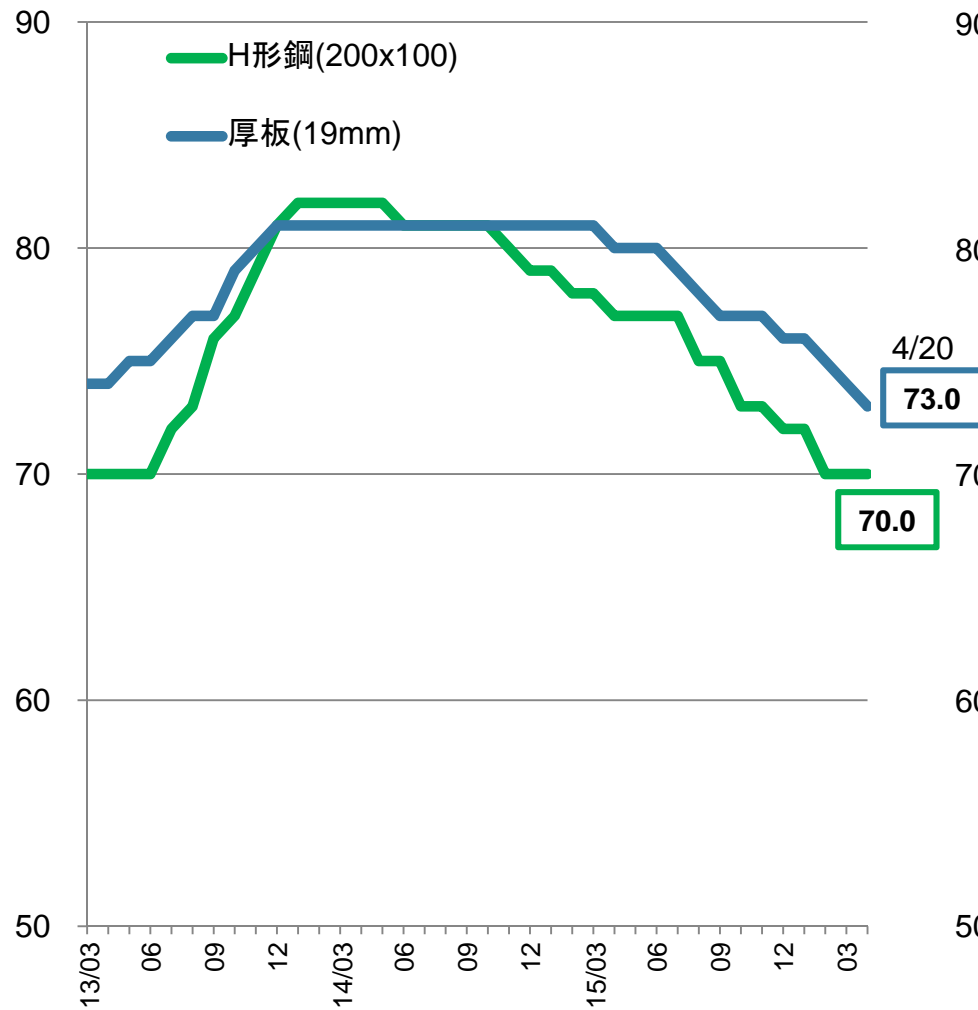
*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

*2 新日鐵住金: 日鐵住金鋼鉄和歌山含み

*3 經濟産業省発表 FY16.1Q鋼材需要見通し(2016/4/5)

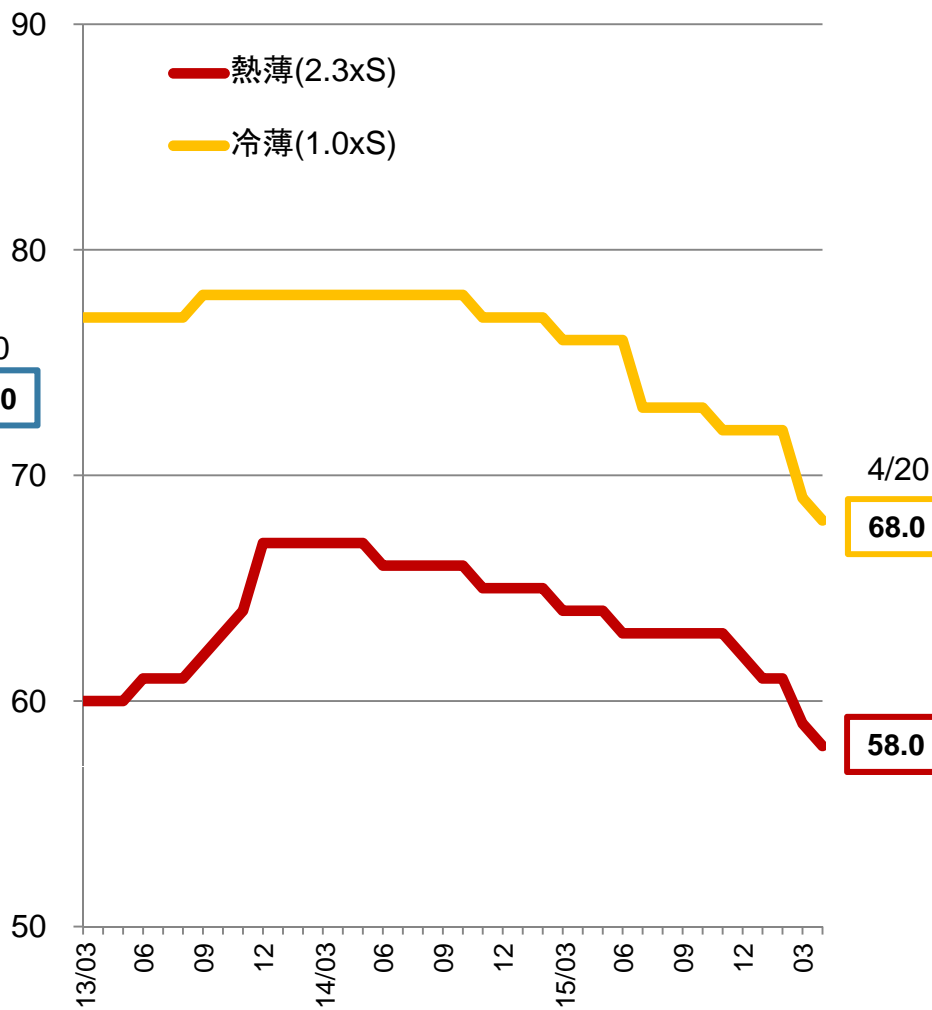
厚板・H形鋼

(千円/ト)



熱延・冷延

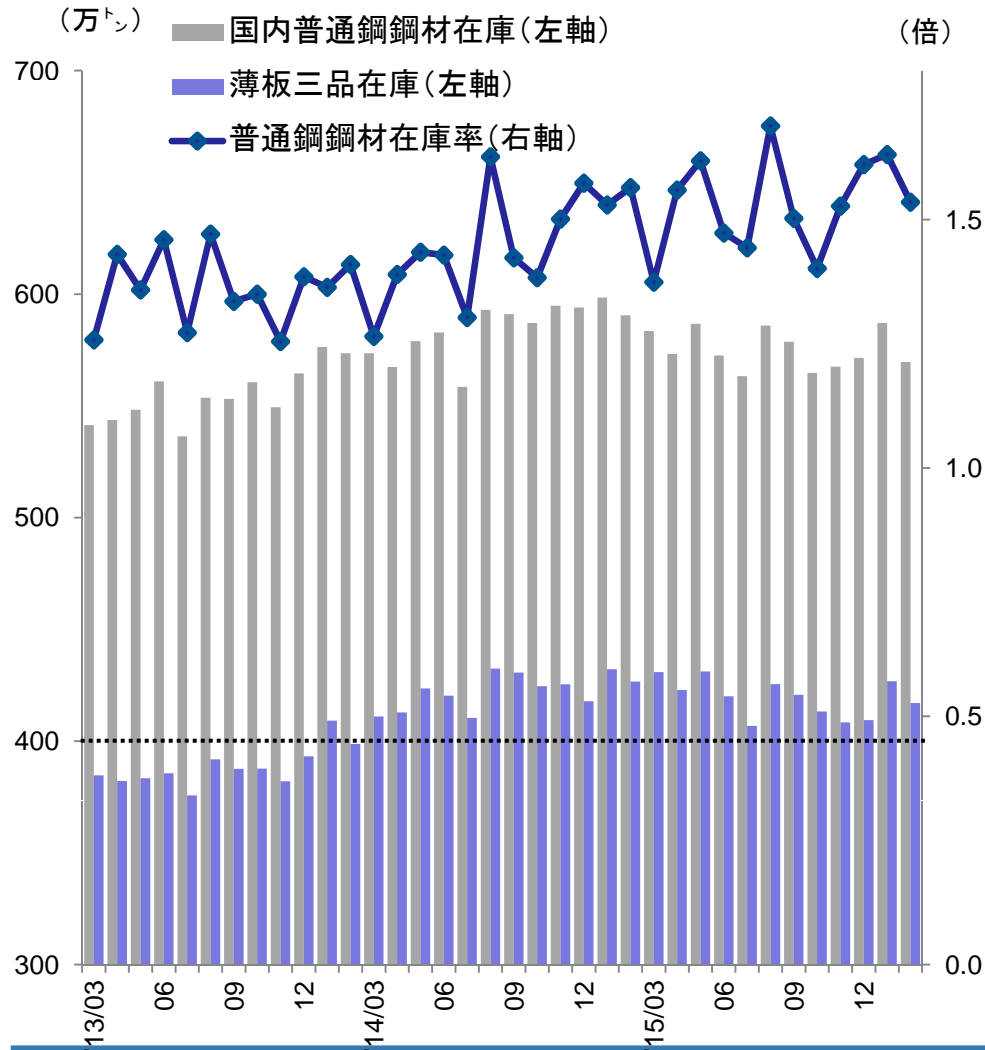
(千円/ト)



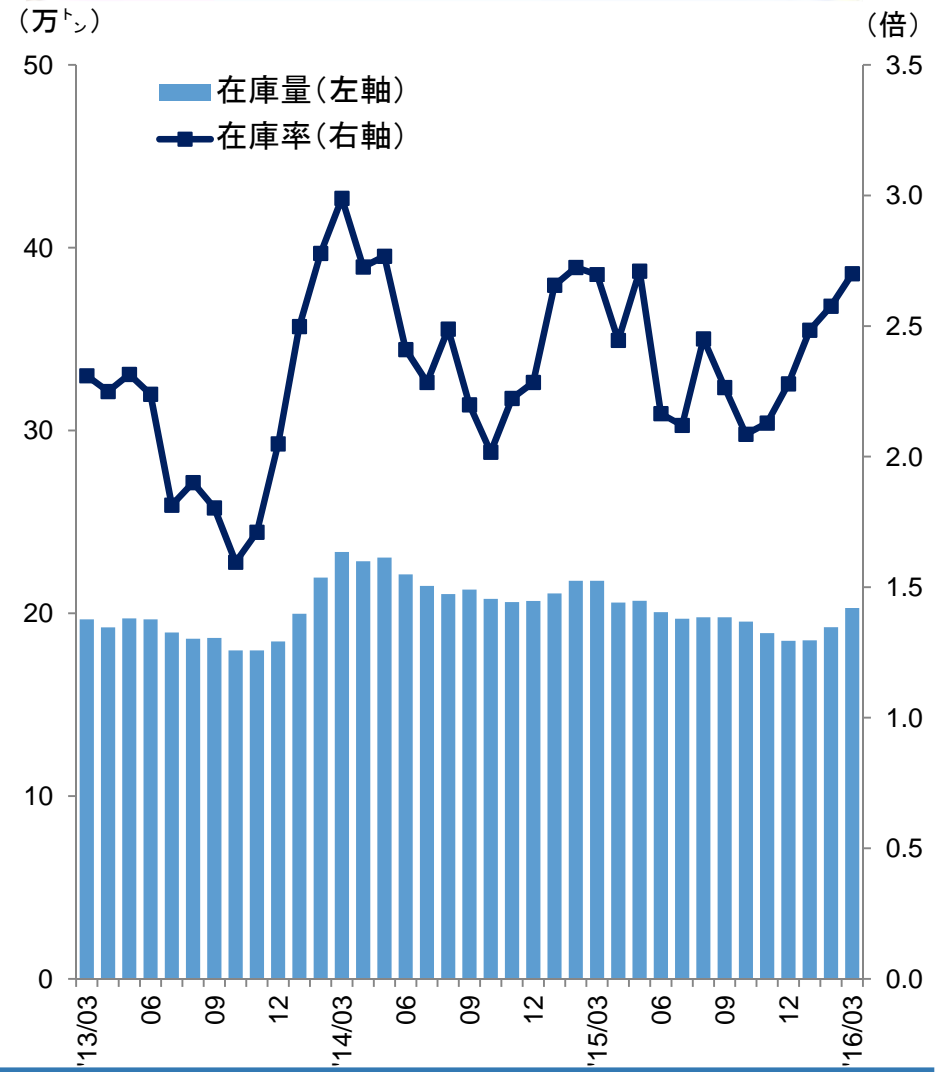
(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

国内鋼材在庫推移

普通鋼鋼材・薄板三品在庫



ときわ会(H形鋼)在庫

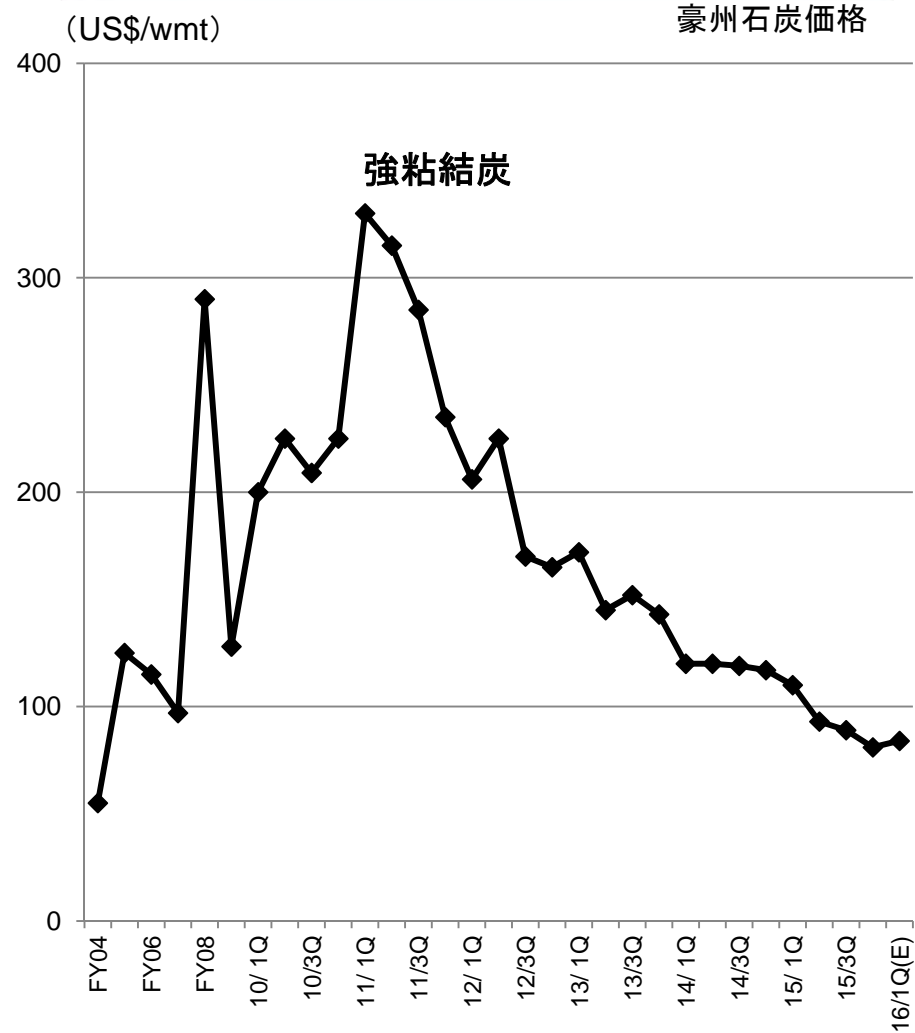


(出所: 日本鉄鋼連盟)

鉄鉱石

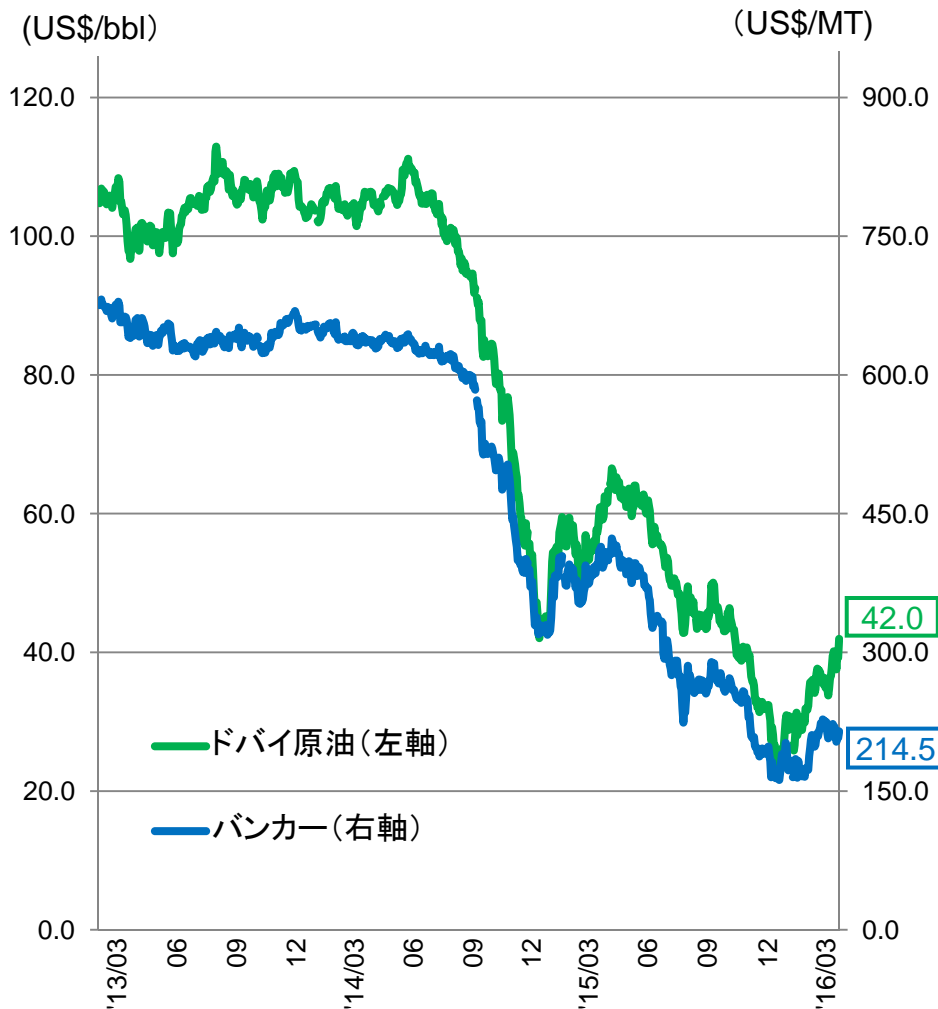


原料炭

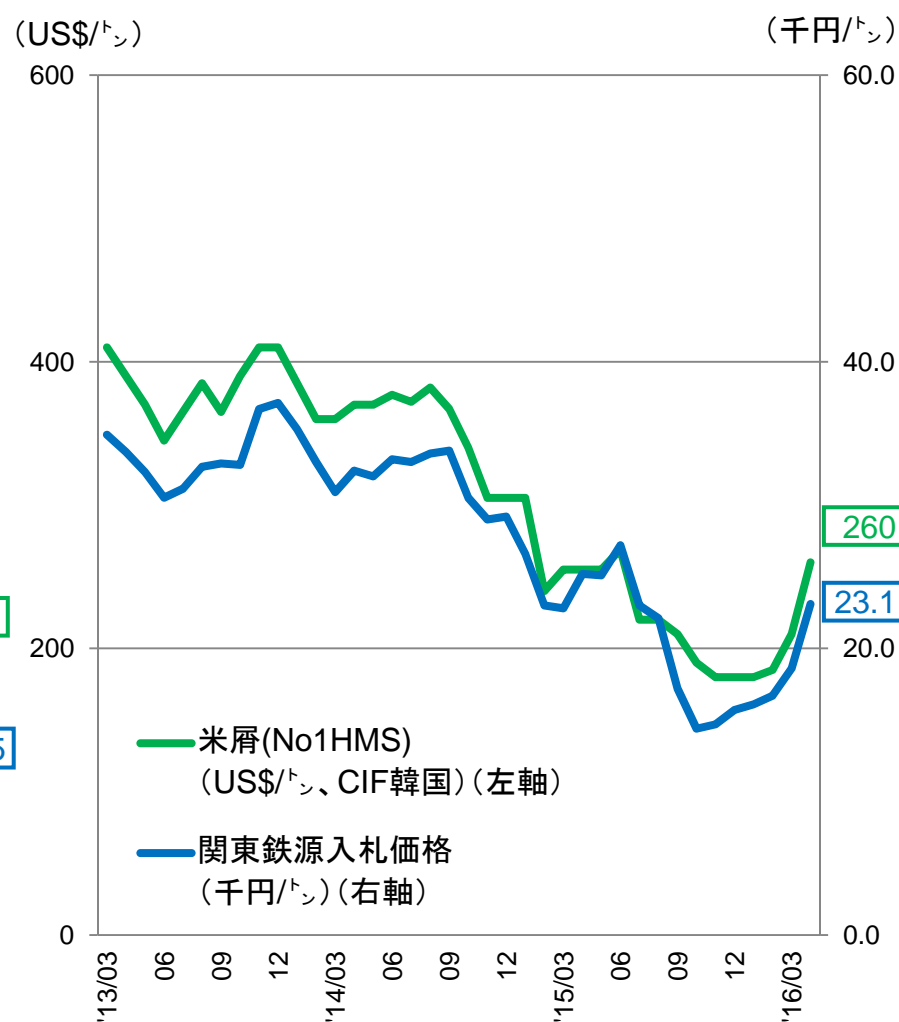


原料市況 <原油・スクラップ>

原油



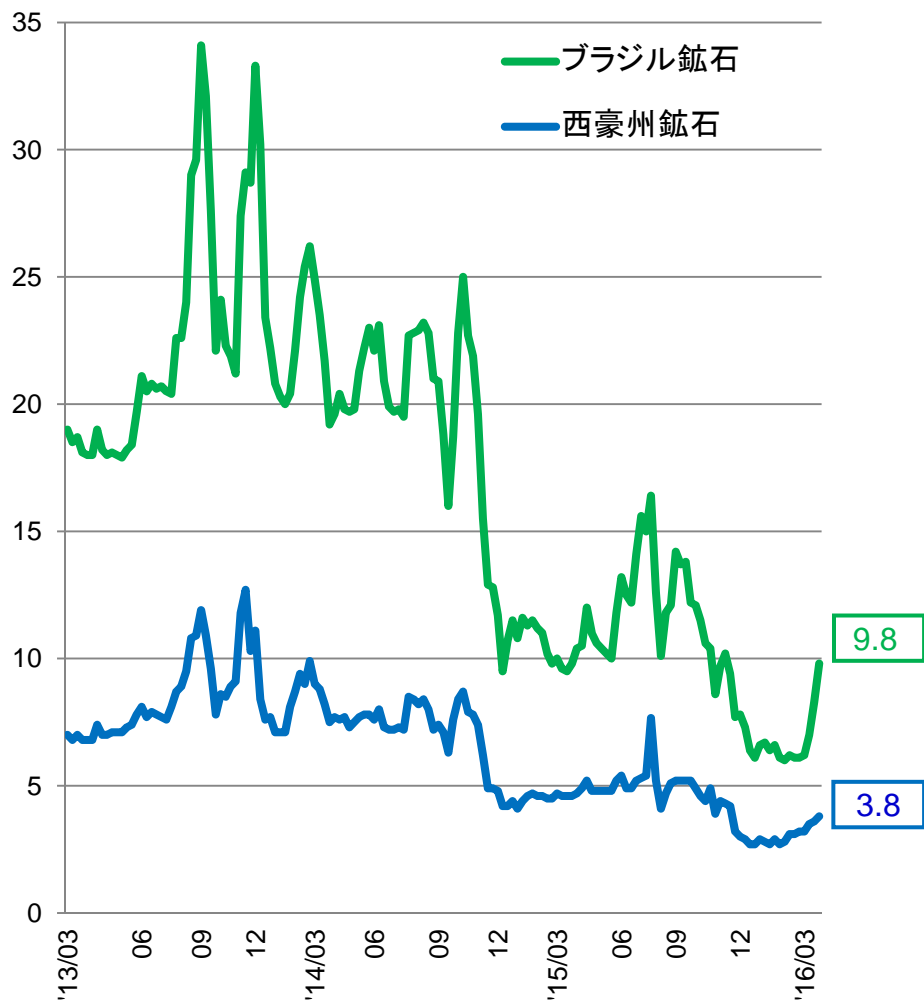
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

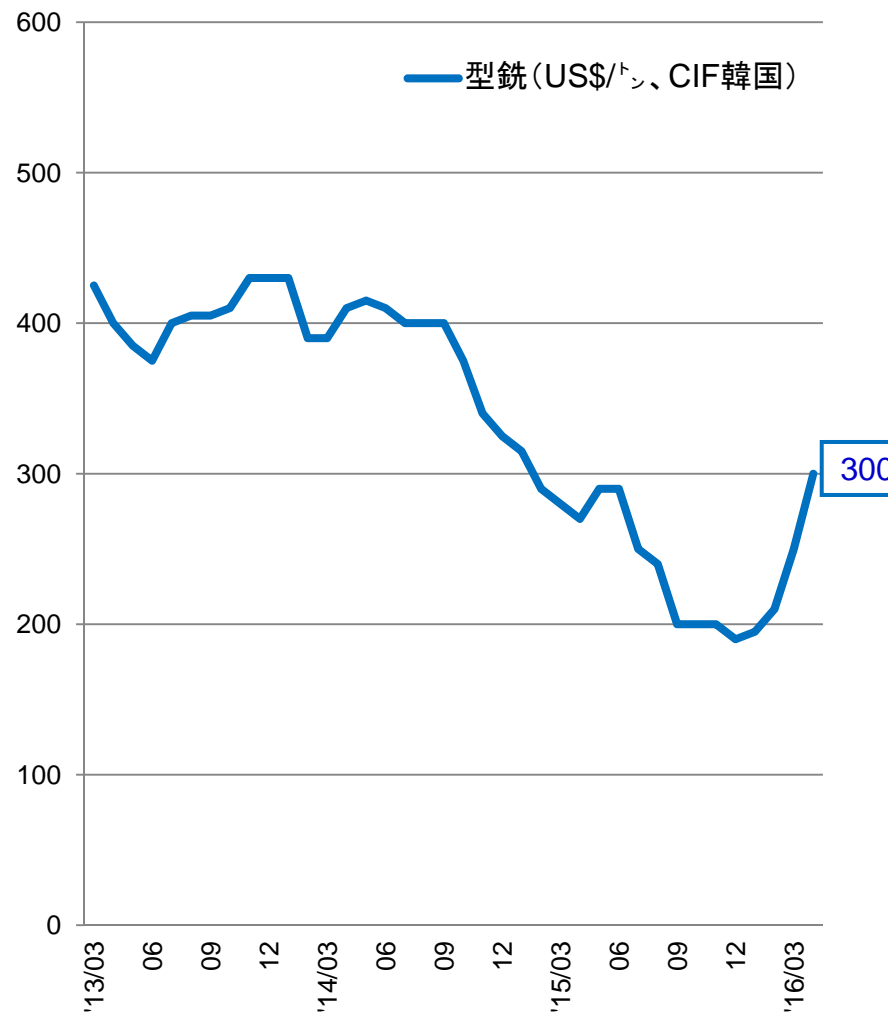
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)



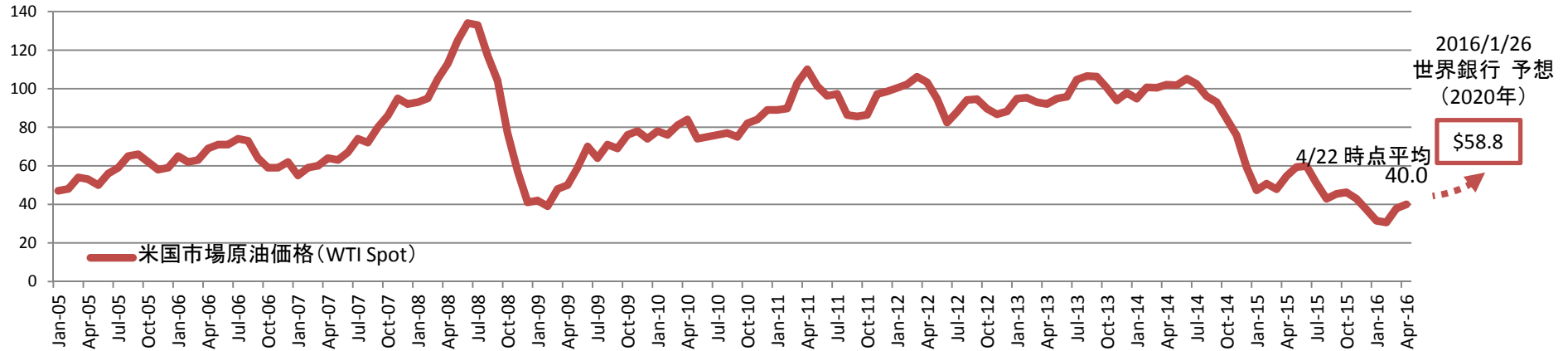
型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)

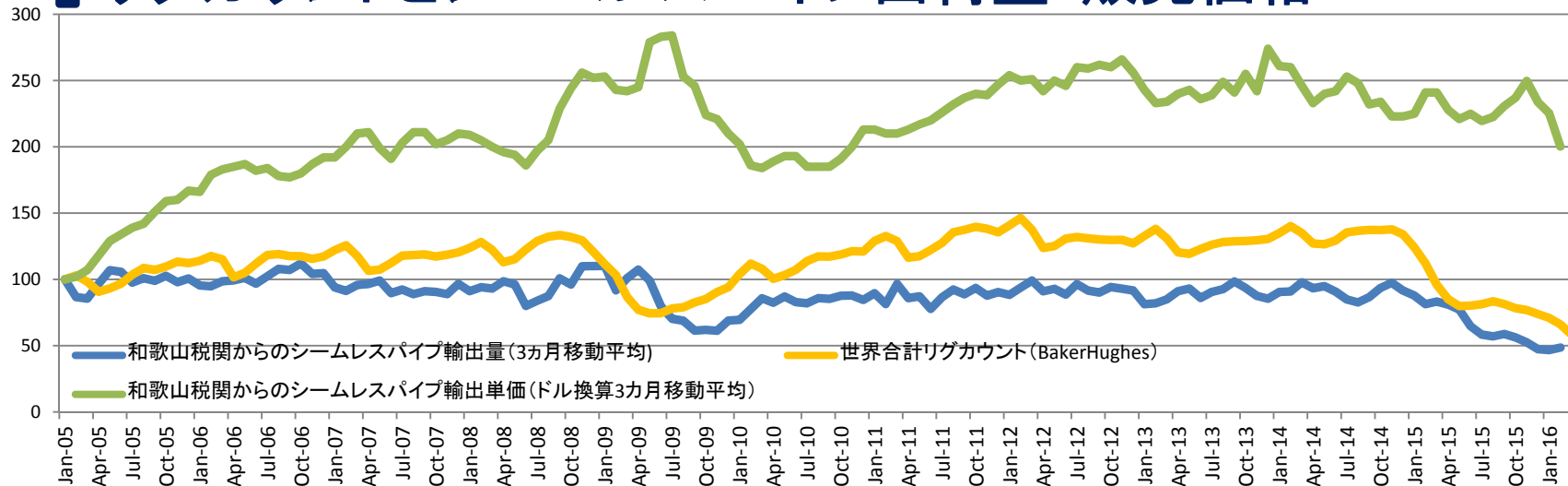


エネルギー関連指標の推移

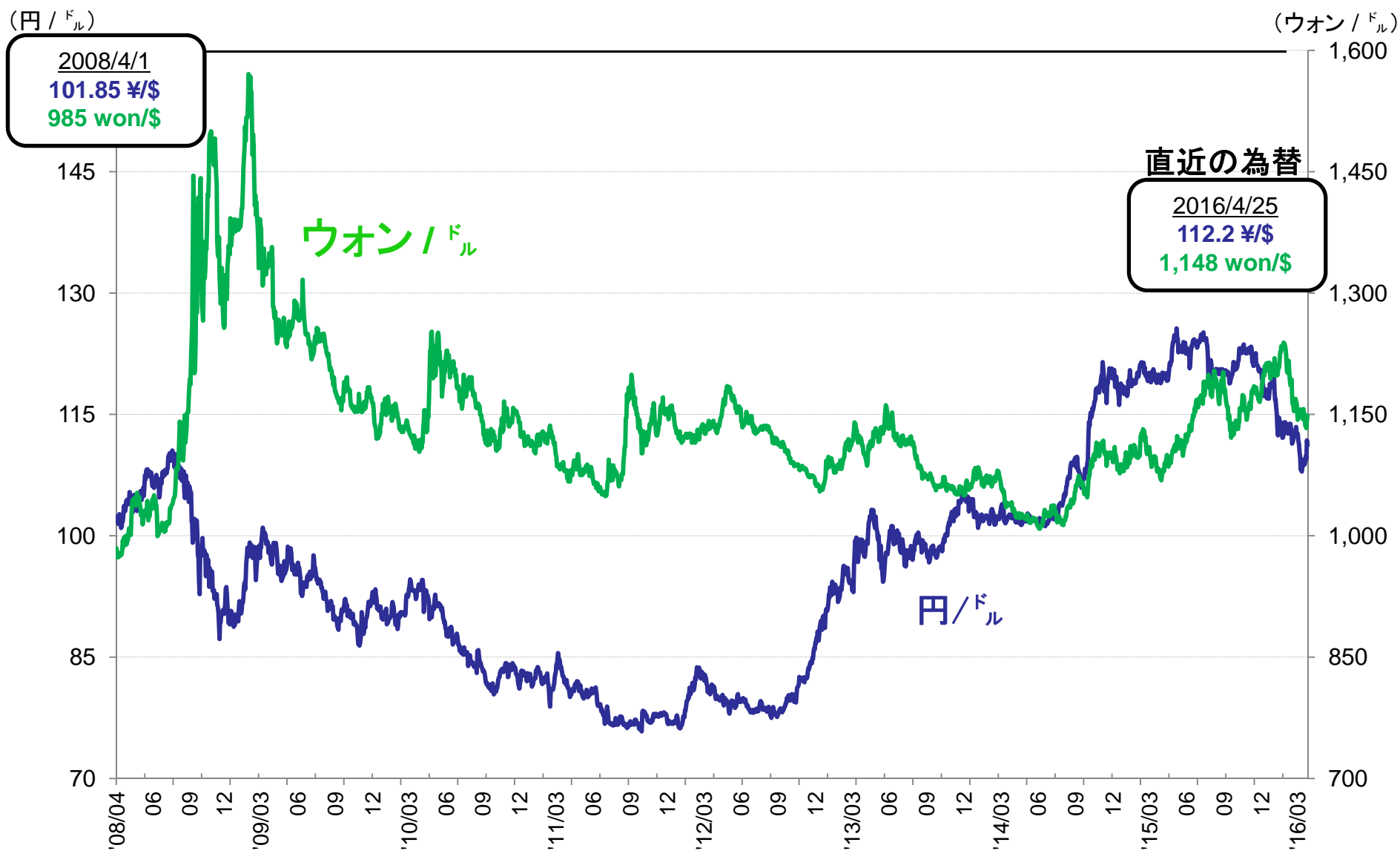
原油価格



リグカウントとシームレスパイプ出荷量・販売価格 (2005年1月=100)



為替推移 (円/ドル, ウォン/ドル)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。